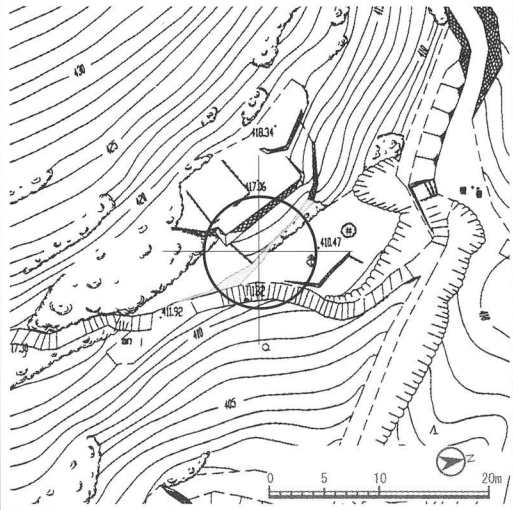
石垣番号	kt_015	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	犬走り				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 9.70		下端 9.70		
石垣高さ	左 0.28		右 0.58		
	最高 2.63		最高点位置		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.30				
地盤状況	岩・その他(一部平地)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	露岩上に築造。				

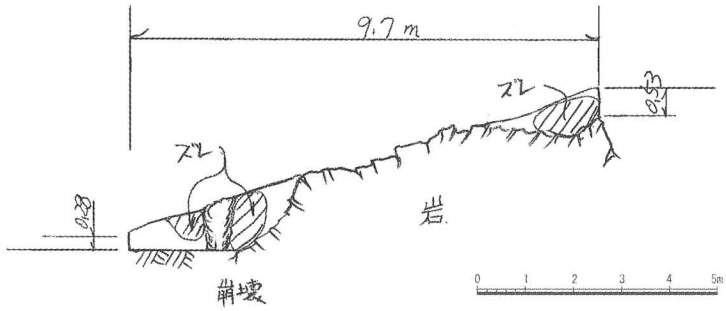
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・岩盤と築石面の不整合などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

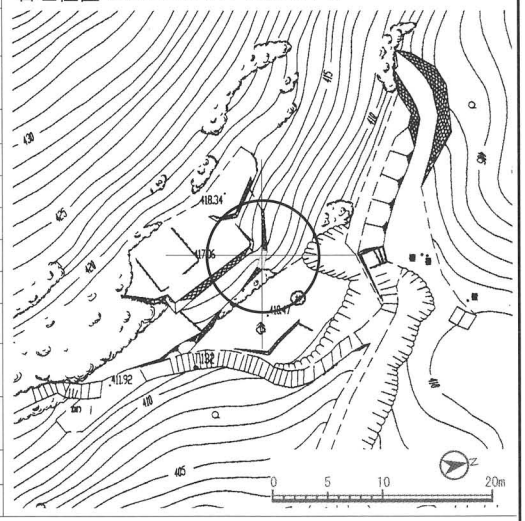
略図



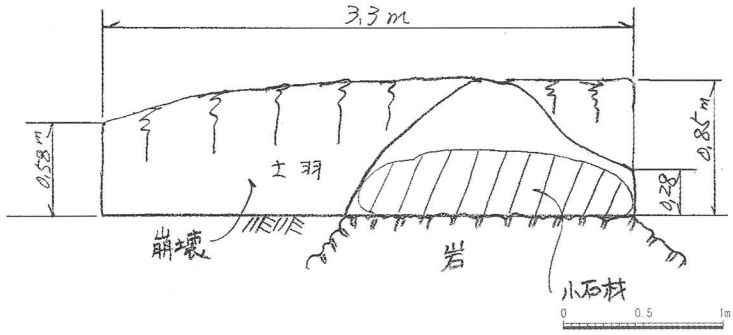
全景写真1

全景写真2

石垣番号	kt_016	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	犬走り			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.30		下端 3.30		
石垣高さ	左 0.58		右 0.28		
	最高 0.85	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面・その他(一部岩の上)				
石材種別	割石(小石材)				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	露岩上に築造、残存部にズレがみられる。				



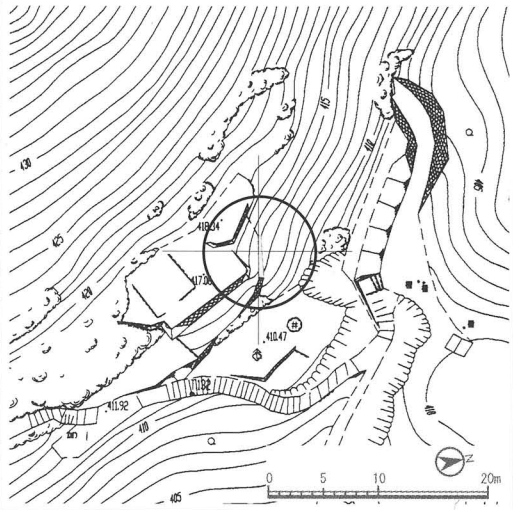
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



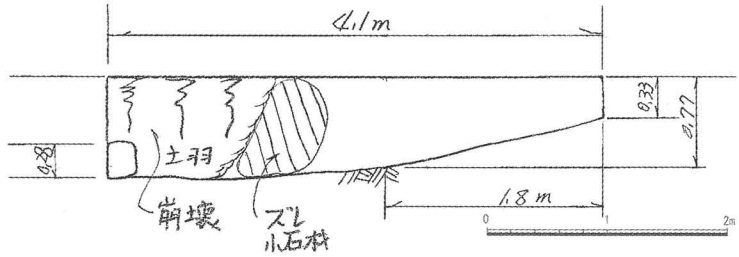
全景写真１

石垣番号	kt_017	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	犬走り				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角(鈍角)			
石垣延長	天端 4.10		下端 4.00		
石垣高さ	左 0.28		右 0.33		
	最高 0.77		最高点位置		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面(急斜面)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材が多い。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



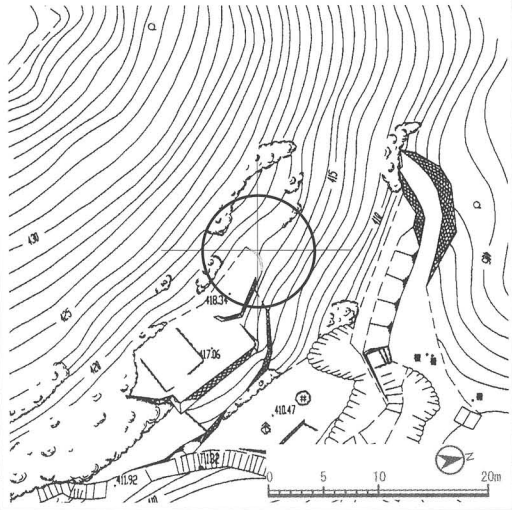
破損の要因と破損状況	略図
・小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。 ・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



全景写真1

石垣番号	kt_018	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け(斜面)			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.10		下端 2.10		
石垣高さ	左 0.35		右 0.30		
	最高 0.35	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	底部に残石が数石程度。				

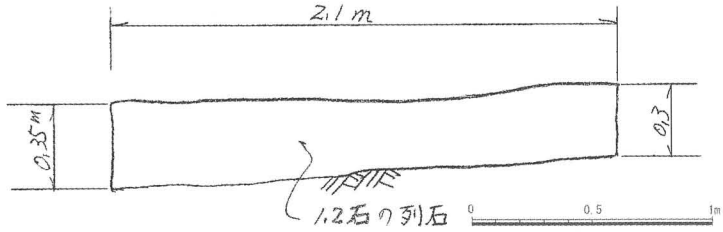
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・全壊している。

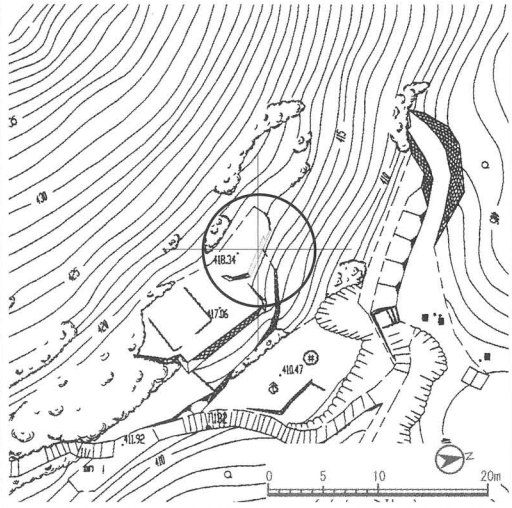
略図



全景写真1

石垣番号	kt_019	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角・シノギ(低)			
石垣延長	天端 5.40		下端 5.40		
石垣高さ	左 0.80		右 0.35		
	最高 0.80	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面(急斜面)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	角張った石材使用。シノギ(低)				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

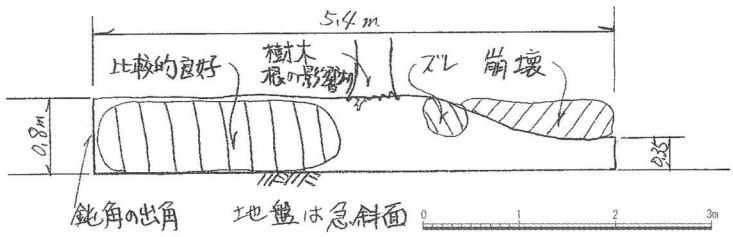


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。

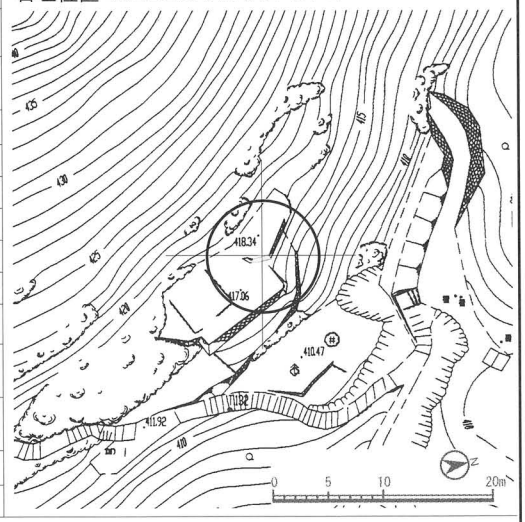
・石垣天端の樹木の影響などにより、ズレがみられる。

略図

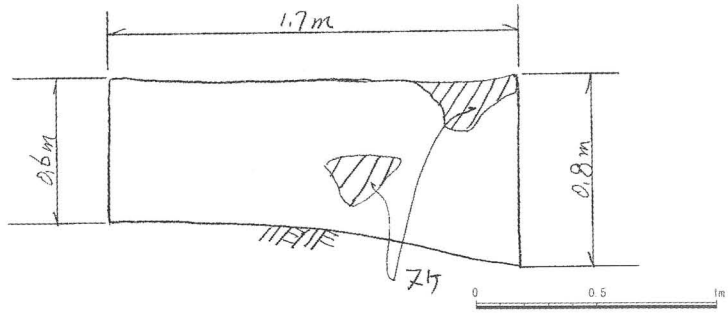


全景写真1

石垣番号	kt_020	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角・シノギ(低)			
	左	出角(鈍角)			
石垣延長	天端 1.70		下端 1.70		
石垣高さ	左 0.60		右 0.80		
	最高 0.80	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	底部に比較的大きな石材使用。しのぎ(低)。				

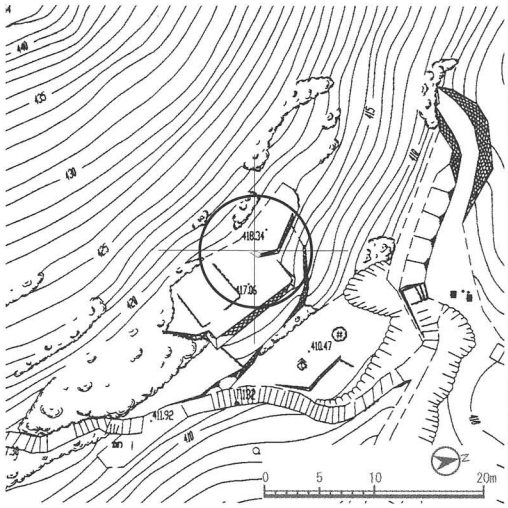


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。	

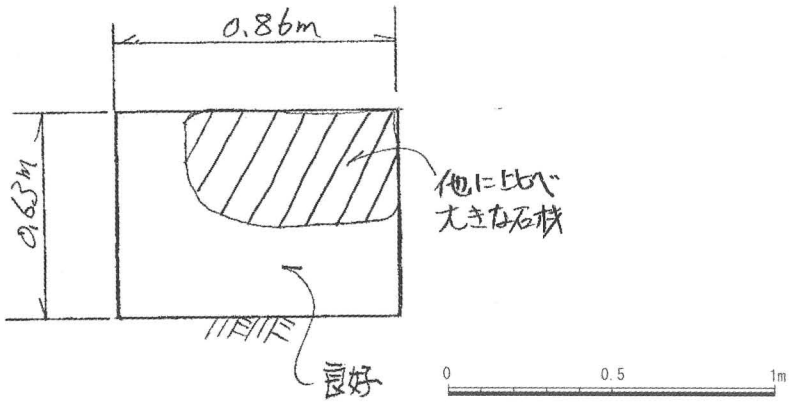


全景写真1

石垣番号	kt_021	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角(鈍角、ほぼ180°に近い)			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 0.86		下端 0.86		
石垣高さ	左 0.63		右 0.63		
	最高 0.63	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	角張った石材を使用。				

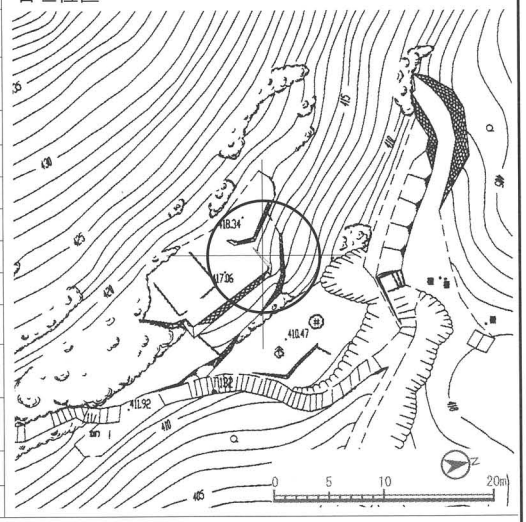


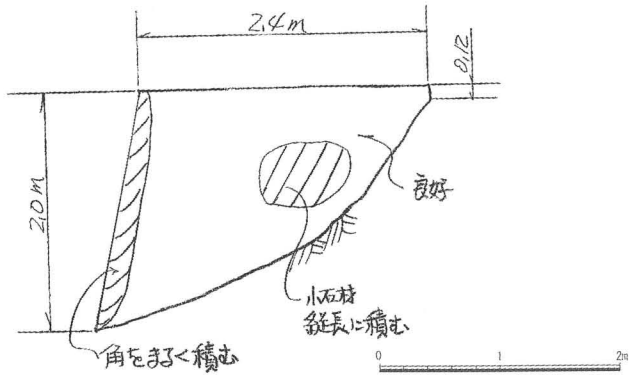
破損の要因と破損状況	略図



全景写真1

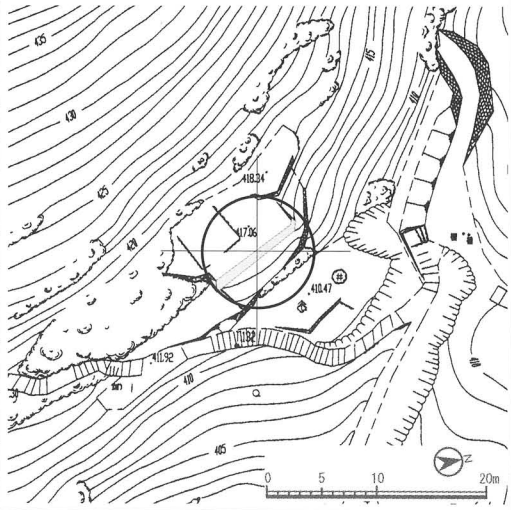
石垣番号	kt_022	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け(地盤)			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.40		下端 2.85		
石垣高さ	左 2.00		右 0.12		
	最高 2.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材が多い。左隅角丸く積む。				



破損の要因と破損状況	略図
	

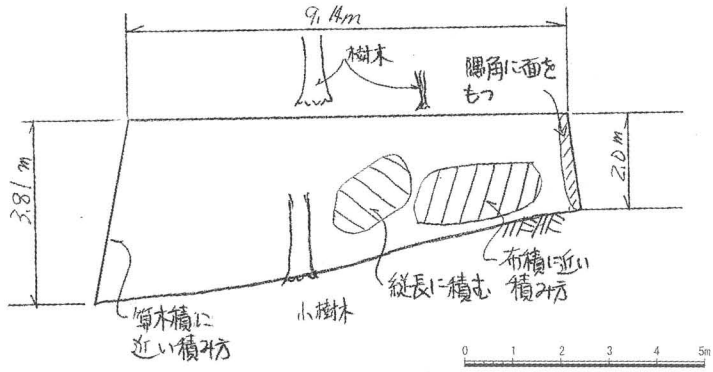
全景写真１

石垣番号	kt_023	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 9.14		下端 10.00		
石垣高さ	左 3.81		右 2.00		
	最高 3.81	最高点位置			
石垣勾配	左 0.30		右 0.20		
	最高地点 0.30				
地盤状況	その他(犬走り)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				



特記事項	比較的整った（石材の合端が合う）積み方。石材も揃っている。算木積（低）。右隅角丸く積む。

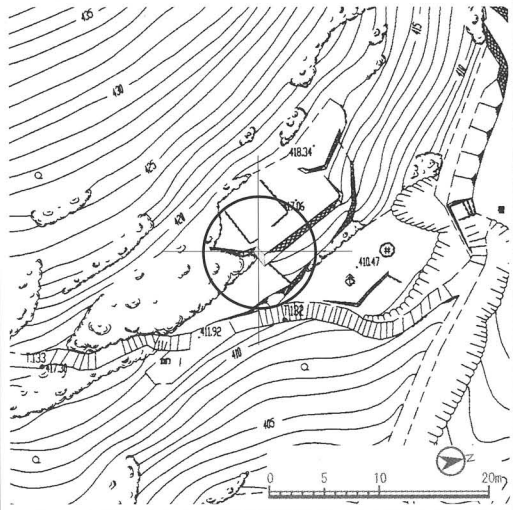
破損の要因と破損状況	略図



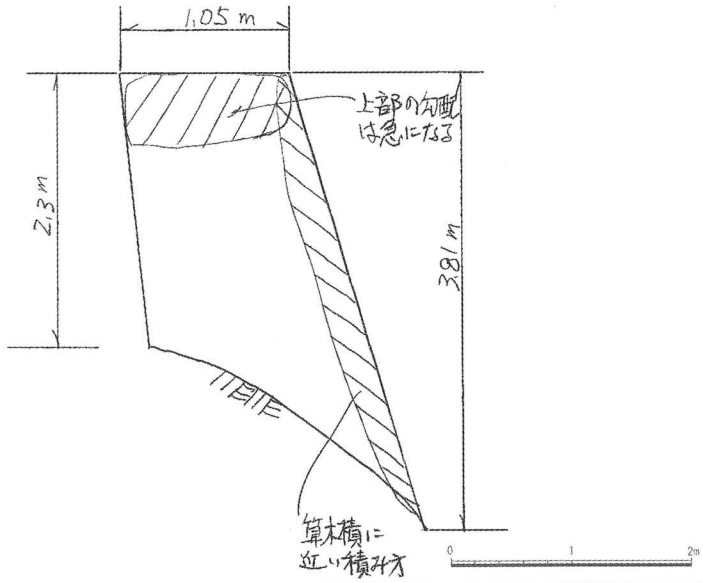
左変曲点

右変曲点

石垣番号	kt_024	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.05		下端 1.80		
石垣高さ	左 2.30		右 3.81		
	最高 3.81	最高点位置			
石垣勾配	左 0.30		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	その他(犬走り)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	角張った石材使用。算木積（低）。ソリあり。				

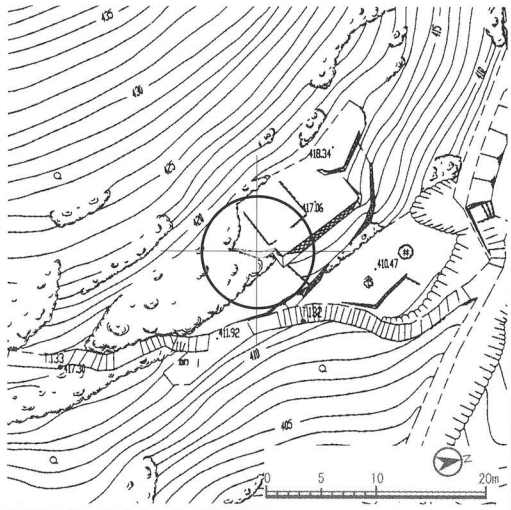


破損の要因と破損状況	略図

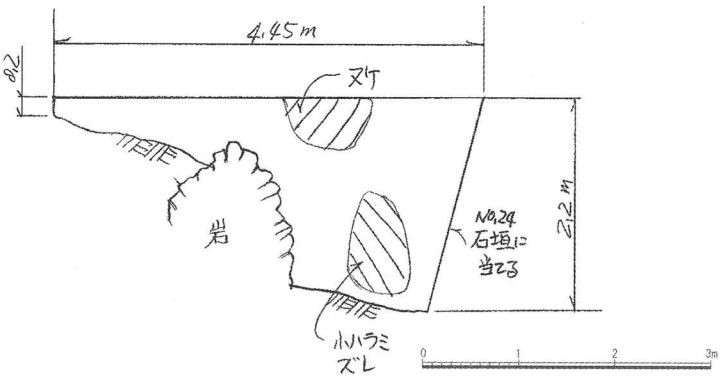


全景写真1

石垣番号	kt_025	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.45		下端 4.30		
石垣高さ	左 0.20		右 2.20		
	最高 2.20	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	その他(犬走り＋一部斜面(左側))				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	垂直に近い勾配。右角はkt24にすり付けているようである。露岩上に築造。				

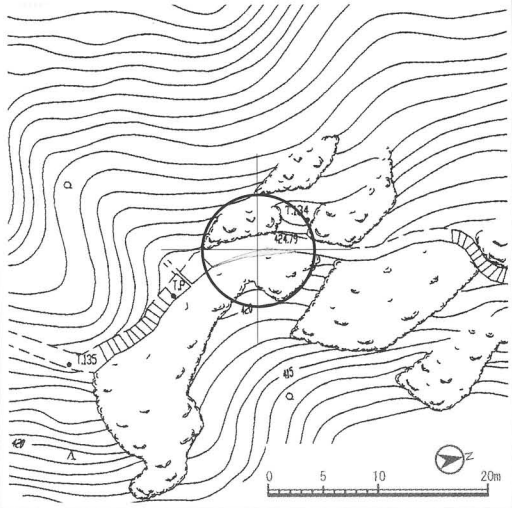


破損の要因と破損状況	略図
・岩盤と築石面の不整合などにより、ズレ、ヌケ、小ハラミがみられる。	

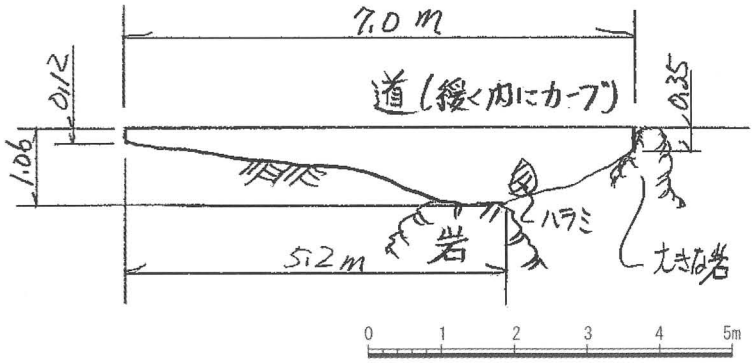


全景写真1

石垣番号	kt_026	地区名	切通及び番所跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け(岩)			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 7.00		下端 7.00		
石垣高さ	左 0.12		右 0.35		
	最高 1.06	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.40				
地盤状況	斜面・岩(中央)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小さめの石を用いて道に沿って曲面を持つ。石材角張った石が多い。露岩上に築造。				

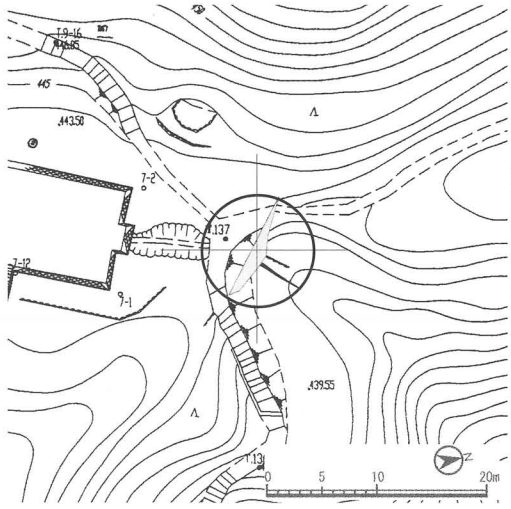


破損の要因と破損状況	略図
・岩盤と築石面の不整合などにより、小ハラミがみられる。	

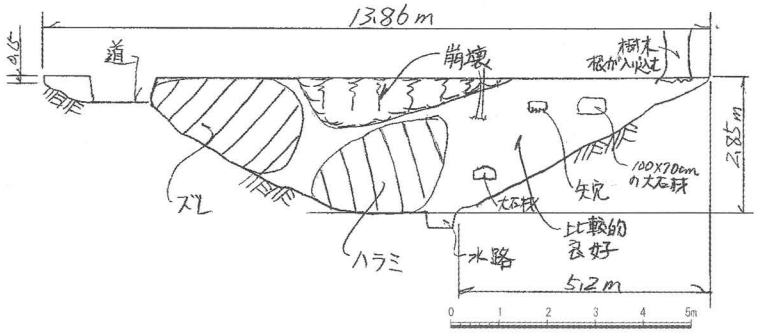


全景写真１

石垣番号	oi_001	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け(土)			
石垣延長	天端 13.86		下端 3.10		
石垣高さ	左 0.15		右 0.00		
	最高 2.85	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.25				
地盤状況	斜面・その他(水路)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	園路で分断。				



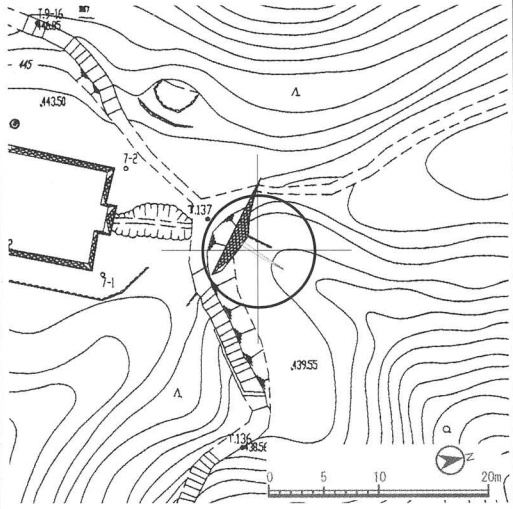
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ハラミ、部分崩壊がみられる。	



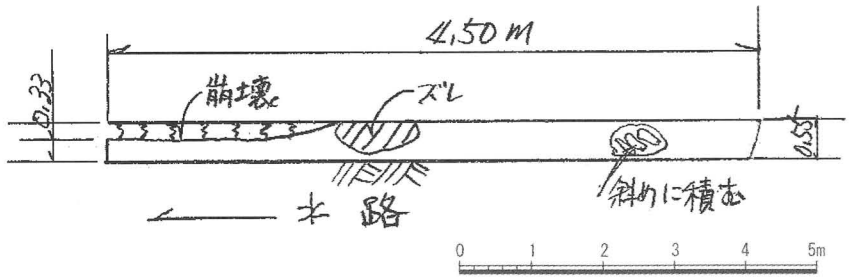
全景写真1

全景写真2

石垣番号	oi_002	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(水路の側壁)			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け(石垣に)			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.50		下端 4.50		
石垣高さ	左 0.33		右 0.55		
	最高 0.55	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	その他(水路)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	長形の角張った石材。				



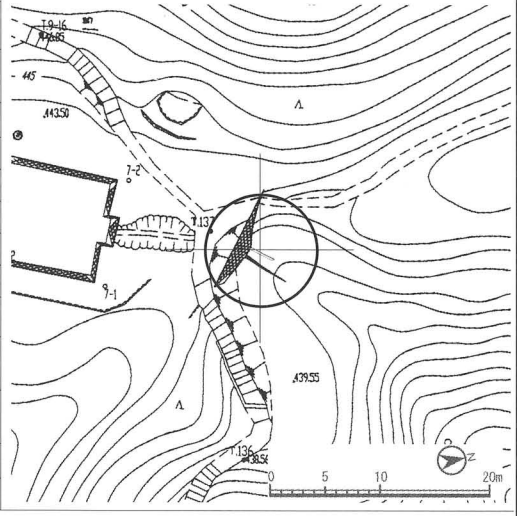
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



全景写真 1

石垣番号	oi_003	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(水路)				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け(oi_001)			
石垣延長	天端 4.50		下端 4.50		
石垣高さ	左 0.47		右 0.28		
	最高 0.47	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	その他(水路)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	角張った石材使用。				

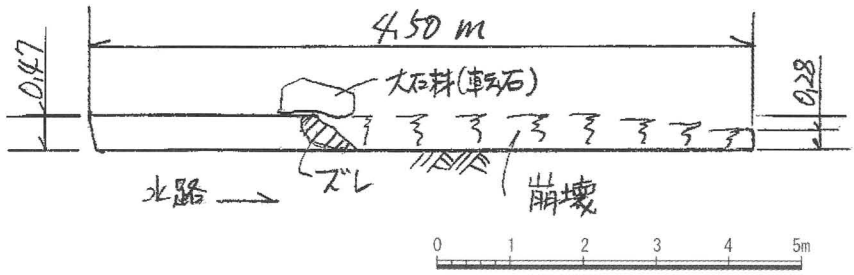
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

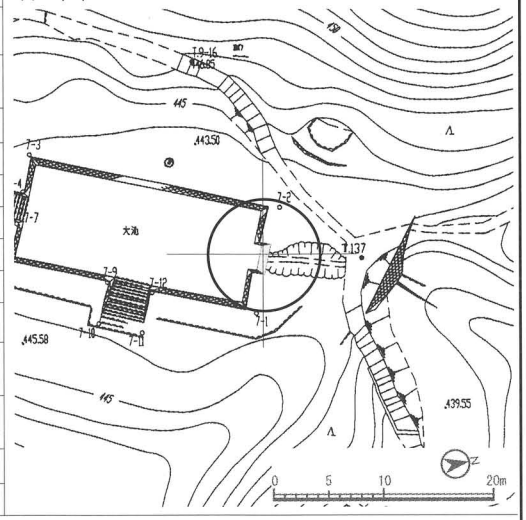
略図



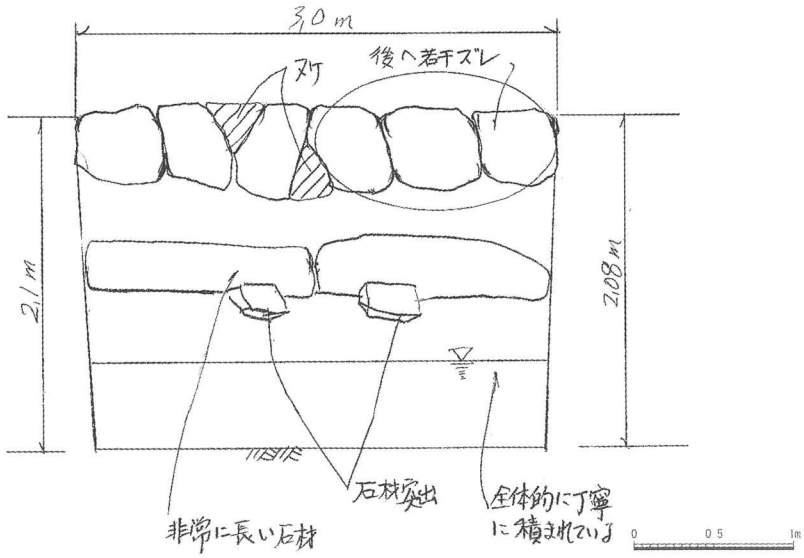
全景写真1

全景写真2

石垣番号	oi_004	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.00		下端 2.80		
石垣高さ	左 2.10		右 2.08		
	最高 2.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.25		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・布積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	ナナメに積んでいるが、特に天端の裏側（裏込）がないので不安定（当初から排水路としてなかったものか不明）。全体に丁寧に積む。				



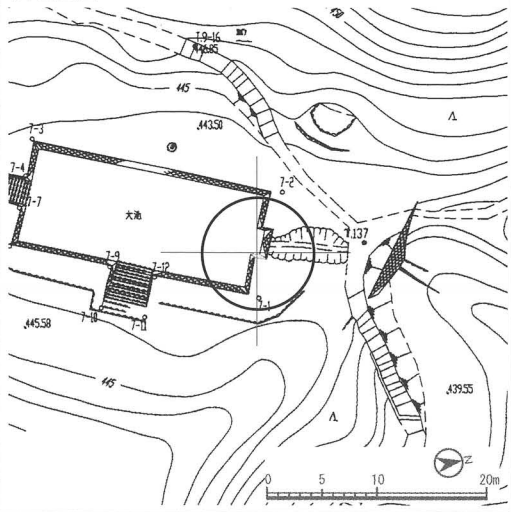
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	



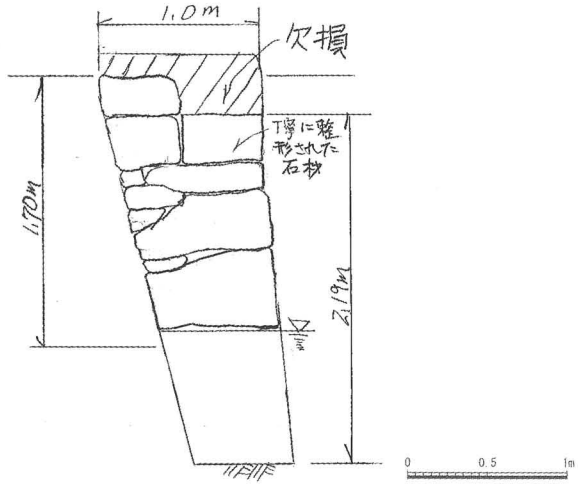
全景写真1

石垣番号	oi_005	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.00		下端 0.70		
石垣高さ	左 1.70		右 2.19		
	最高 2.19	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面(？)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・布積				
石垣現状	天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。角石は切石に近い整形した石。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

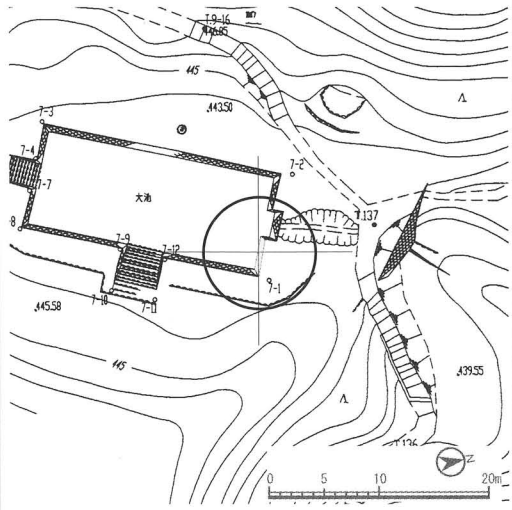


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	

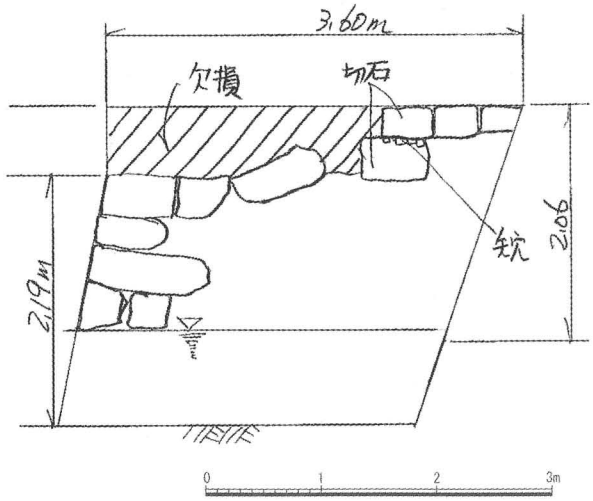


全景写真１

石垣番号	oi_006	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.60		下端 3.20		
石垣高さ	左 2.19		右 2.06		
	最高 2.19	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石・切石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	天端石の欠損				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	矢穴がある。切石１～２石含む。丁寧に整形した石材を用いる。欠損したなりに安定。算木積（低）。間詰石のヌケあり。				



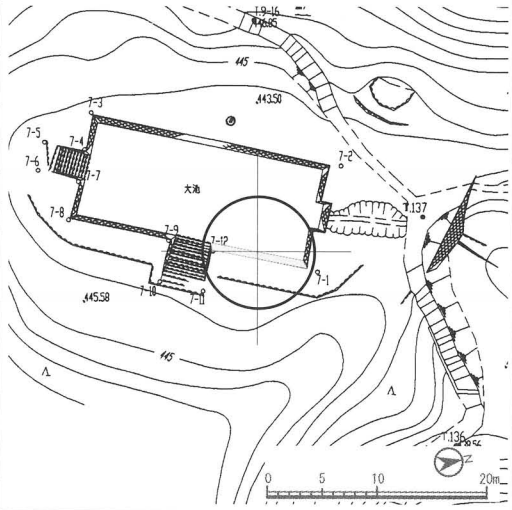
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



全景写真１

石垣番号	oi_007	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 9.20		下端 8.90		
石垣高さ	左 2.06		右 2.83		
	最高 2.83	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	その他(池)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

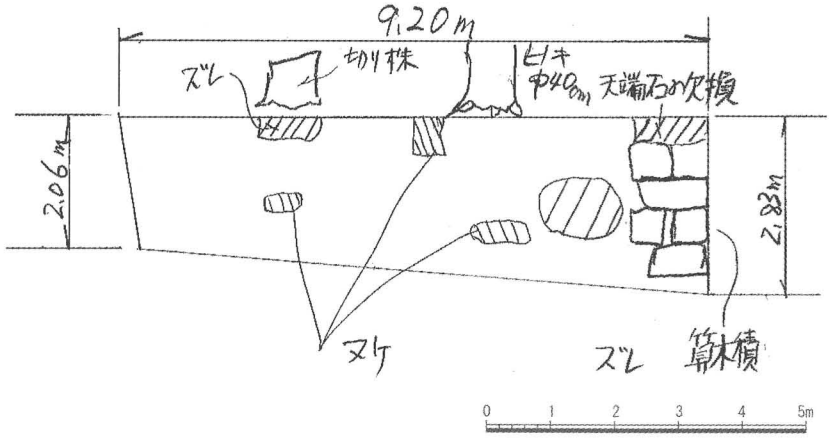


特記事項	正方形に近い石が多い。全体的にはしっかり積んでいて良好な状態。矢穴跡の石材数石みられる。算木積（高）

破損の要因と破損状況

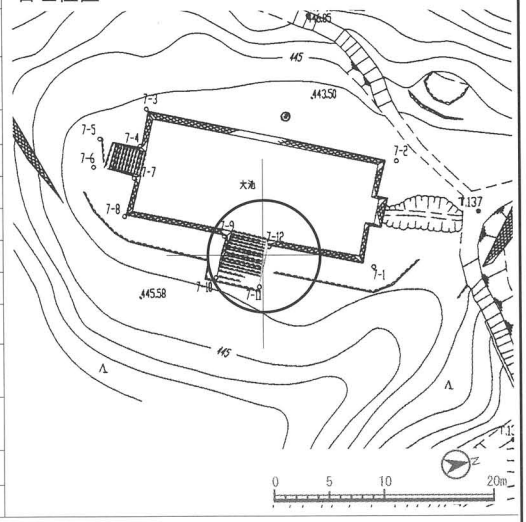
- 施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。
- 石垣天端の樹木の影響などにより、ズレ、ヌケがみられる。
- 水による影響などにより、ズレ、ヌケがみられる。

略図

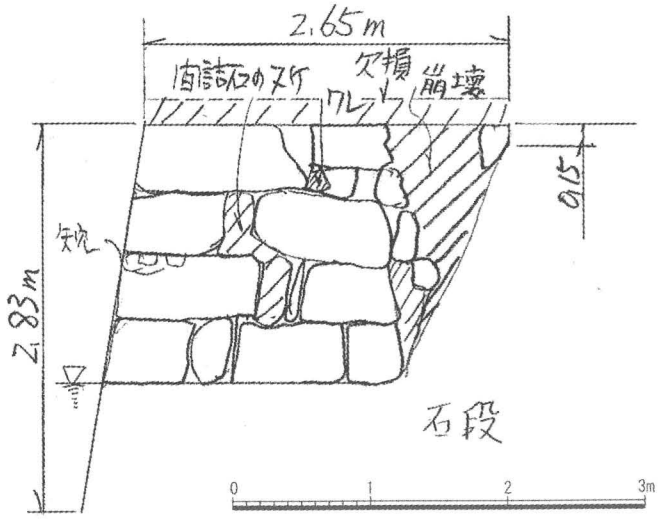


全景写真1

石垣番号	oi_008	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.65		下端 3.10		
石垣高さ	左 2.83		右 0.15		
	最高 2.83	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・布積				
石垣現状	部分崩壊・割レ・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	階段壁部及び天端欠損。欠損なりに安定。間詰石のヌケあり。				

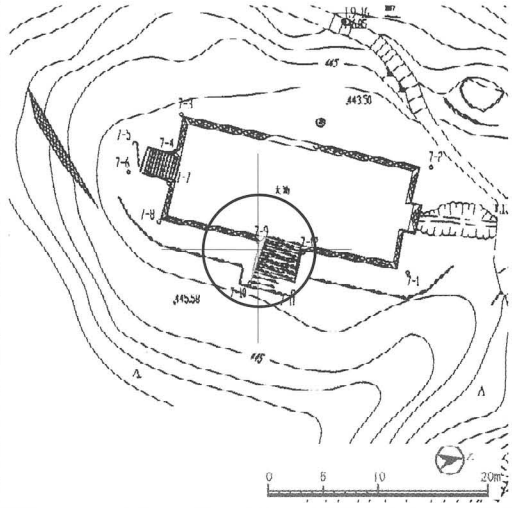


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊、ワレ、カケがみられる。	

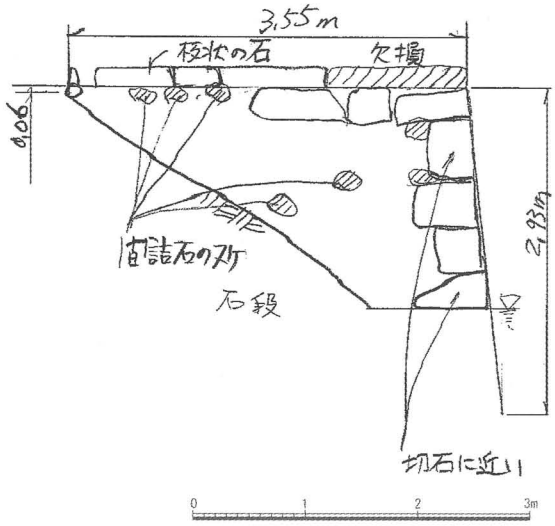


全景写真1

石垣番号	oi_009	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け（？）			
石垣延長	天端 3.55		下端 3.85		
石垣高さ	左 0.06		右 2.93		
	最高 2.93	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面・その他				
石材種別	割石(切石に近い)				
石積工法	打込ハギ・布積				
石垣現状	天端石の欠損				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケあり。切石に近い整形した石。算木積(高)。				



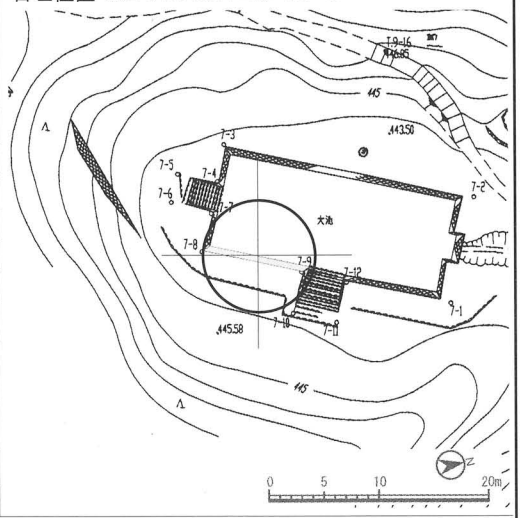
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



全景写真1

石垣番号	oi_010	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 9.85		下端 9.40		
石垣高さ	左 2.93		右 1.70		
	最高 2.93	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.30		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケあり。安定している。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

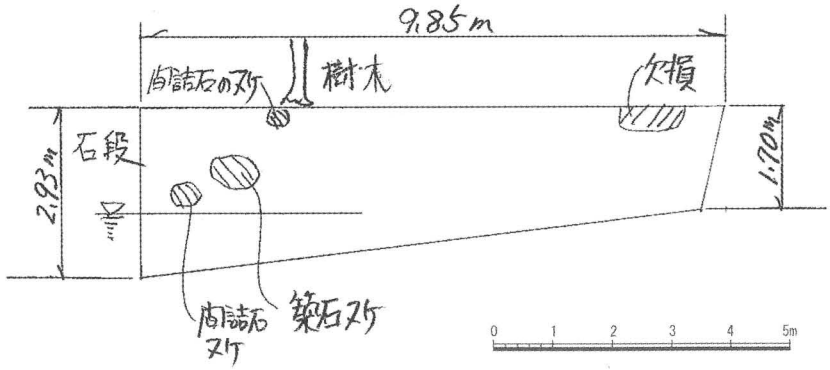


破損の要因と破損状況

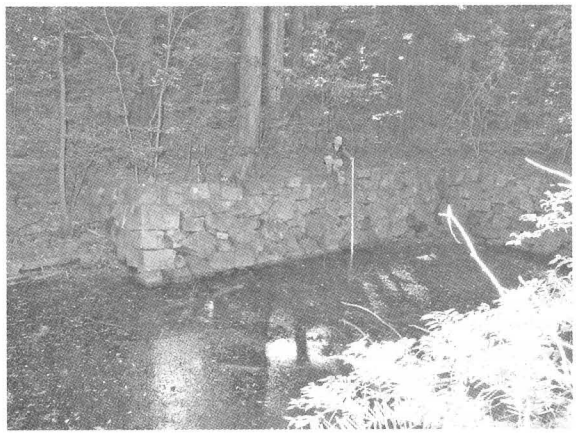
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。

・水による影響などにより、ヌケがみられる。

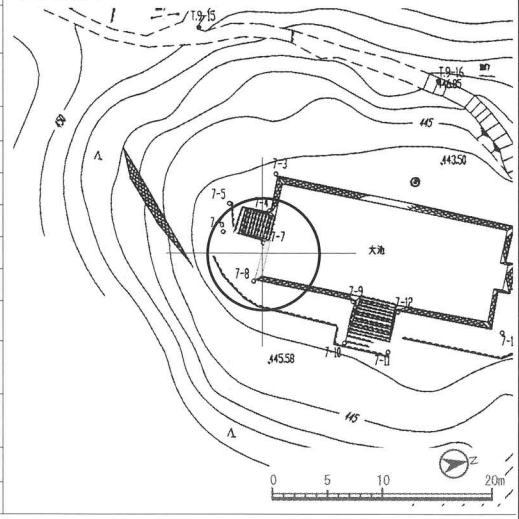
略図



全景写真1



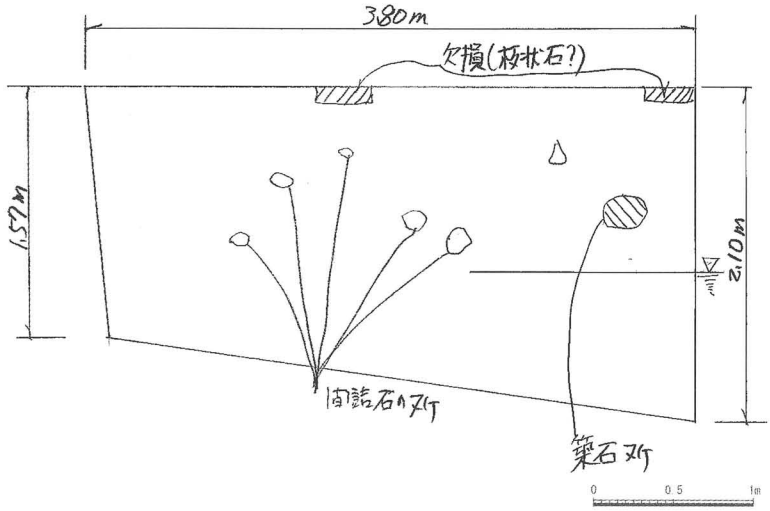
石垣番号	oi_011	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.80		下端 3.65		
石垣高さ	左 1.57		右 2.10		
	最高 2.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.30		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	切石に近い整形した石を多く用いる。間詰石のヌケあり。				



破損の要因と破損状況

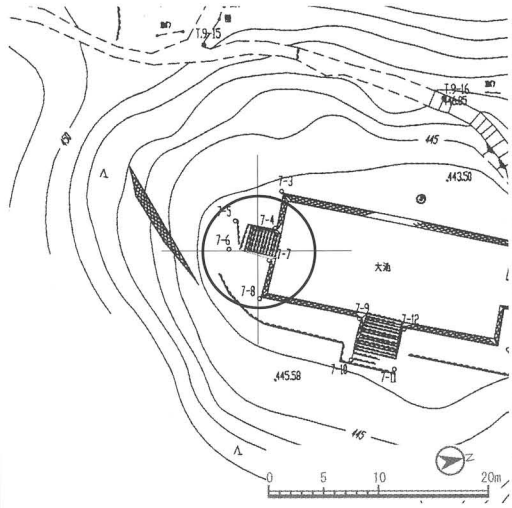
- 施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。
- 水による影響などにより、ヌケがみられる。

略図

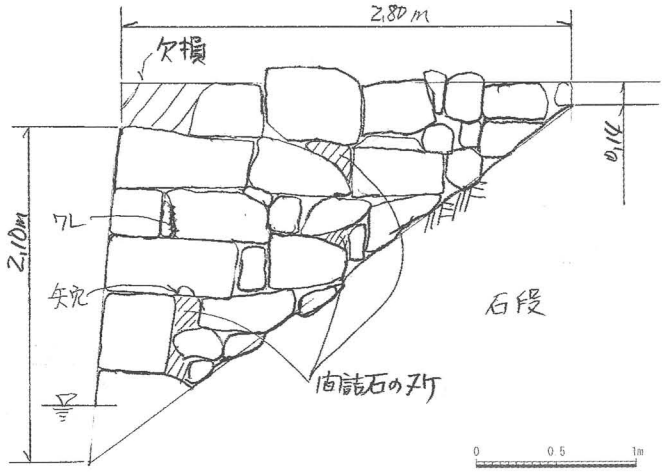


全景写真1

石垣番号	oi_012	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.80		下端 3.25		
石垣高さ	左 2.10		右 0.14		
	最高 2.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.05		右 0.00		
	最高地点 0.05				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	割レ・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケあり。全て整形した石。矢穴跡あり。算木積（高）				

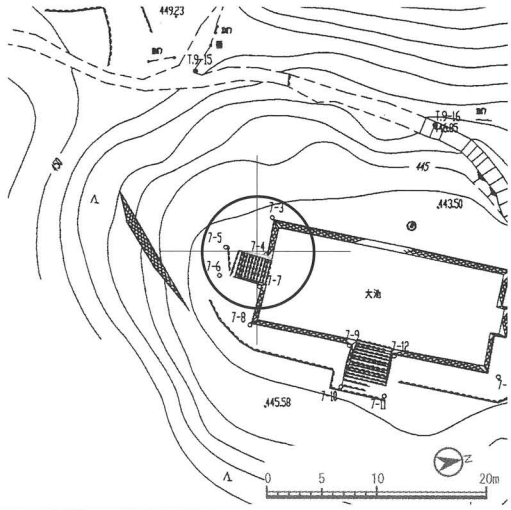


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ワレ、カケがみられる。	

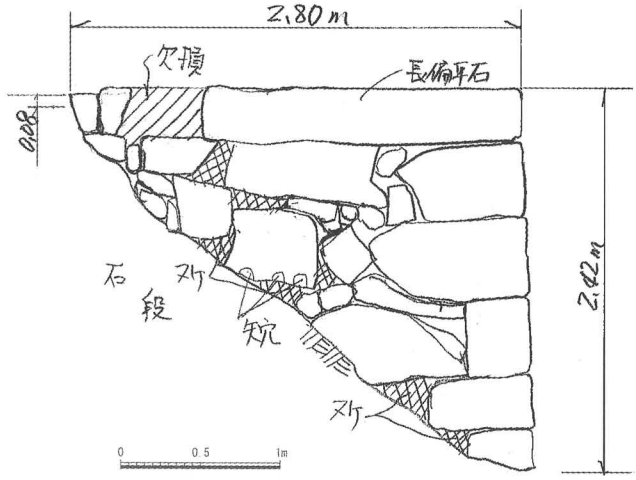


全景写真1

石垣番号	oi_013	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.80		下端 2.90		
石垣高さ	左 0.08		右 2.42		
	最高 2.42	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケ多し。丁寧に整形した石を用いる。間詰も長方形の石が多い。算木積(高)。矢穴跡あり。				

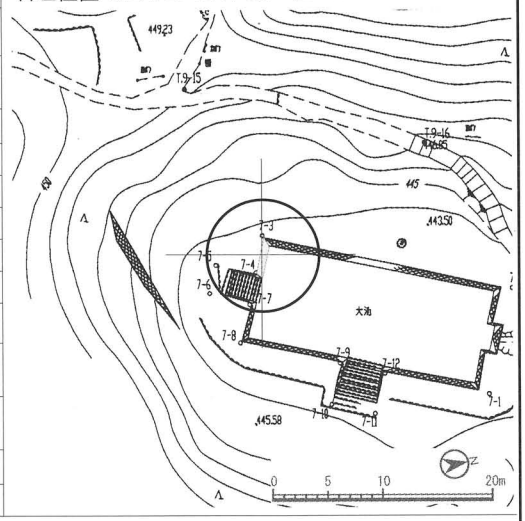


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	

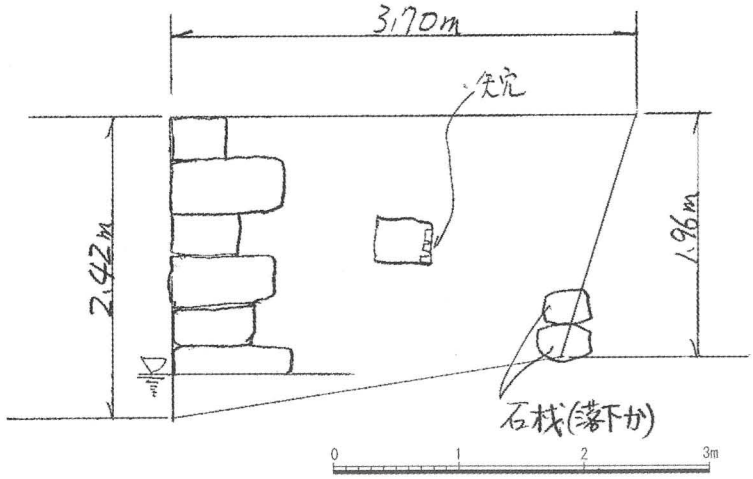


全景写真１

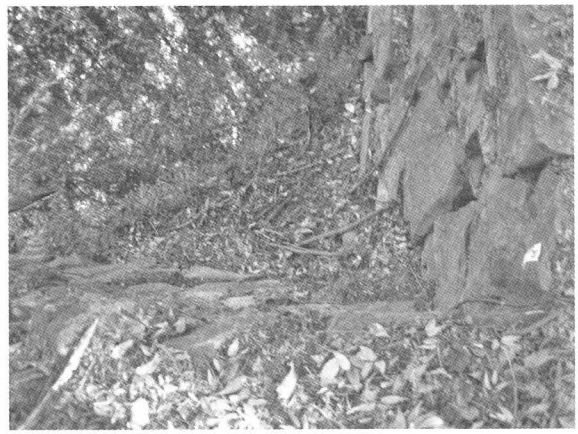
石垣番号	oi_014	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.70		下端 3.10		
石垣高さ	左 2.42		右 1.96		
	最高 2.42	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.25		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面(池)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	形の揃った石材を用いる。安定している。算木積（高）。矢穴跡あり。				



破損の要因と破損状況	略図

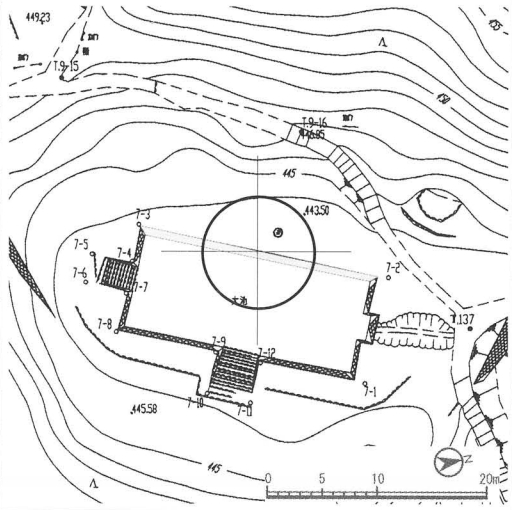


全景写真1



石垣番号	oi_015	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)				
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 23.30		下端 22.40		
石垣高さ	左 1.96		右 1.60		
	最高 1.96	最高点位置			
石垣勾配	左 0.25		右 0.30		
	最高地点 0.25				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

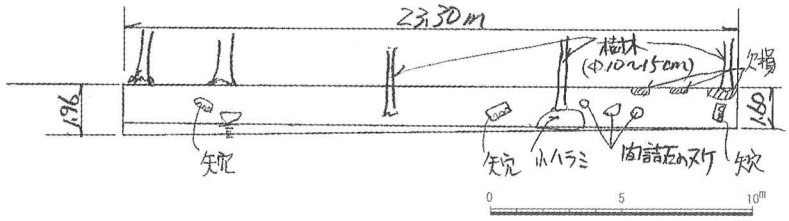


特記事項	天端近くに大木２本。他面天端に比較して天端ライン揃わず（最も長い面のためか）、天端欠損や傾き目立つ。他面に比べてあまり丁寧に積んでいない。間詰石のヌケあり。

破損の要因と破損状況

- 石垣天端の樹木の影響などにより、カケがみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、小ハラミがみられる。

略 図

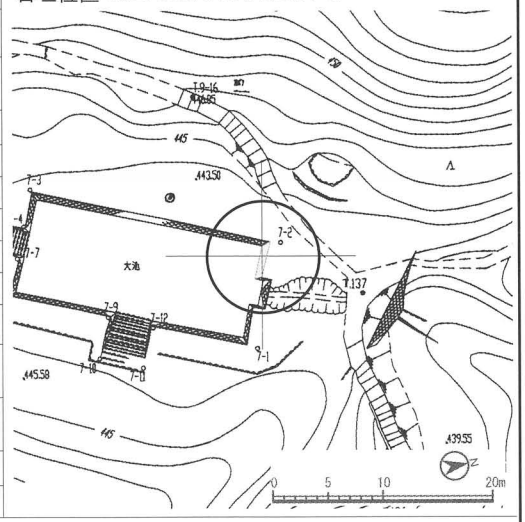


左変曲点

右変曲点

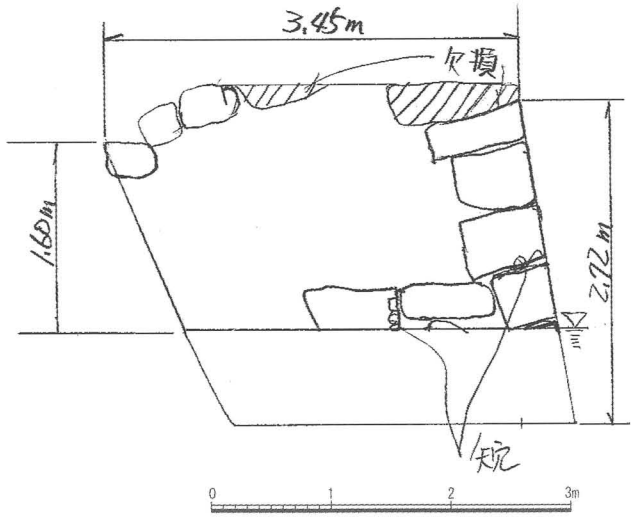
石垣番号	oi_016	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.45		下端 3.25		
石垣高さ	左 1.60		右 2.72		
	最高 2.72	最高点位置			
石垣勾配	左 0.30		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面(池)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

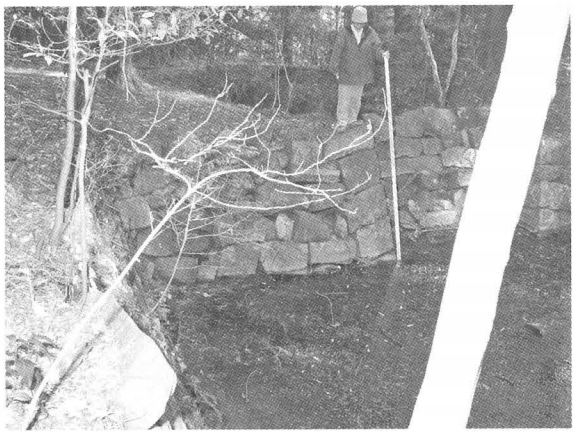


特記事項	安定している。間詰石のヌケあり。整形した石を用いる。所々長方形以外の石材あり。矢穴跡あり。

破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	

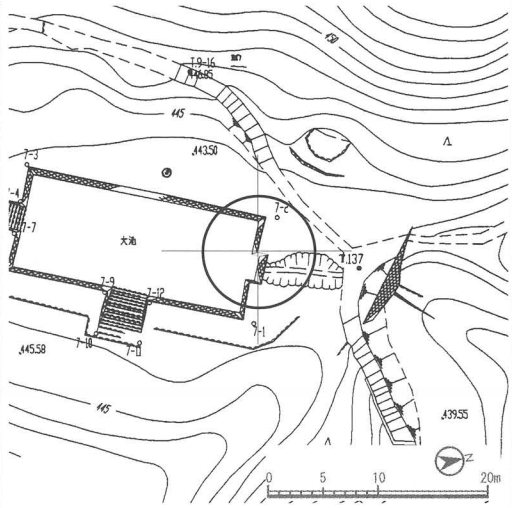


全景写真1

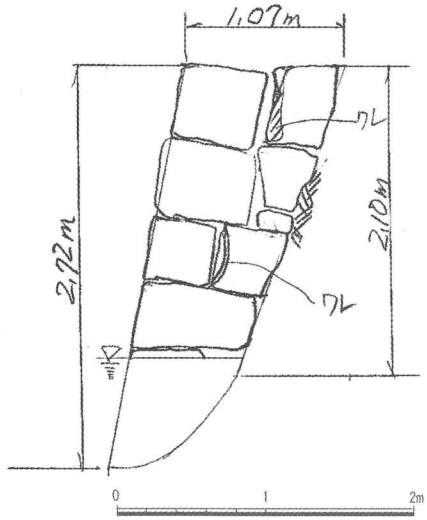


石垣番号	oi_017	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	その他(池)				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.07		下端 0.75		
石垣高さ	左 2.72		右 2.10		
	最高 2.72	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.10		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面(池)				
石材種別	割石・切石				
石積工法	打込ハギ・布積				
石垣現状	良好・割レ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	切石に近い丁寧に整形した石。矢穴跡あり。算木積（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

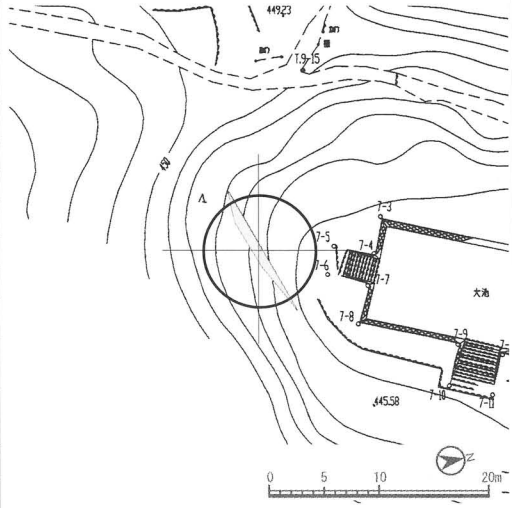


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ワレがみられる。	

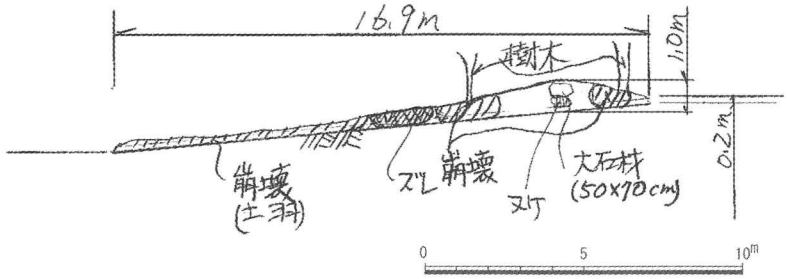


全景写真1

石垣番号	oi_018	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け(斜面)			
	左	すり付け(地盤)			
石垣延長	天端 16.90		下端 16.90		
石垣高さ	左 0.05		右 0.20		
	最高 1.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.65				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	比較的大きめの石材使用。				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。 ・大石の影響などにより、ヌケ、部分崩壊がみられる。	

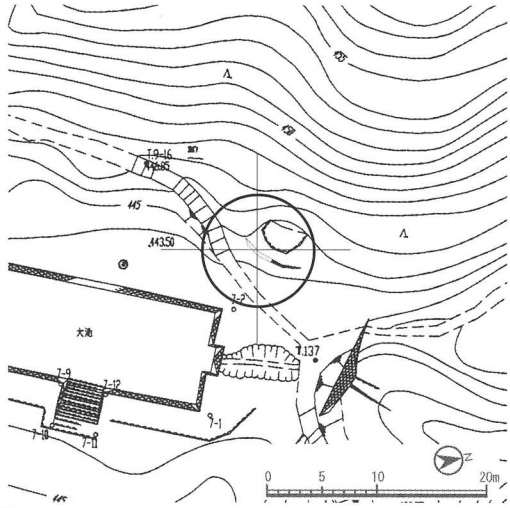


全景写真1

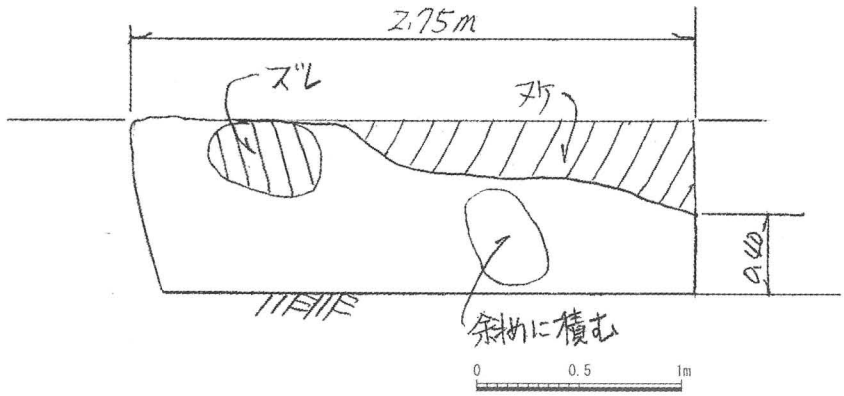
全景写真2

石垣番号	oi_019	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	郭				
角の形状	右	その他(崩れていて不明)			
	左	すり付け(斜面)			
石垣延長	天端 2.75		下端 2.75		
石垣高さ	左 0.30		右 0.40		
	最高 0.85	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	方形に近い石材。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

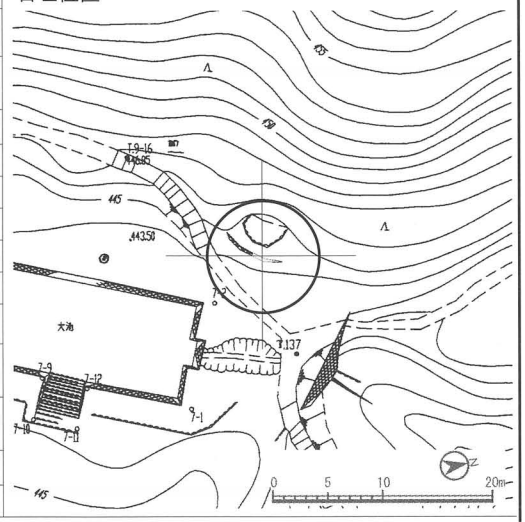


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	

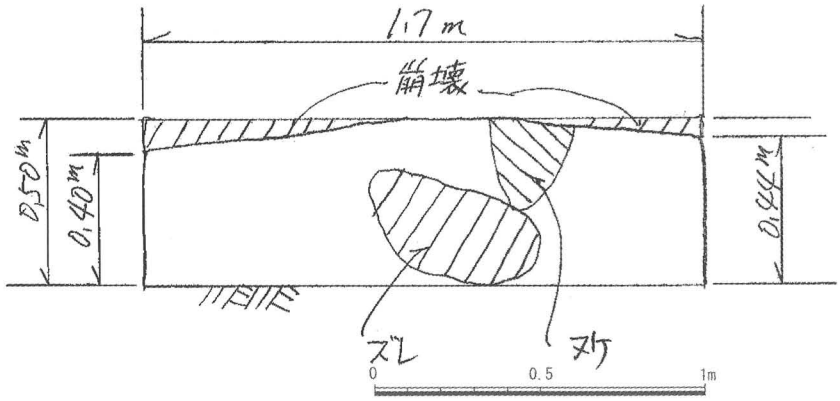


全景写真1

石垣番号	oi_020	地区名	大池	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	その他(不明かすり付け)			
	左	その他(不明かすり付け)			
石垣延長	天端 1.70		下端 1.70		
石垣高さ	左 0.40		右 0.44		
	最高 0.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	oi19に比べ同じぐらいの大きさの石材。				

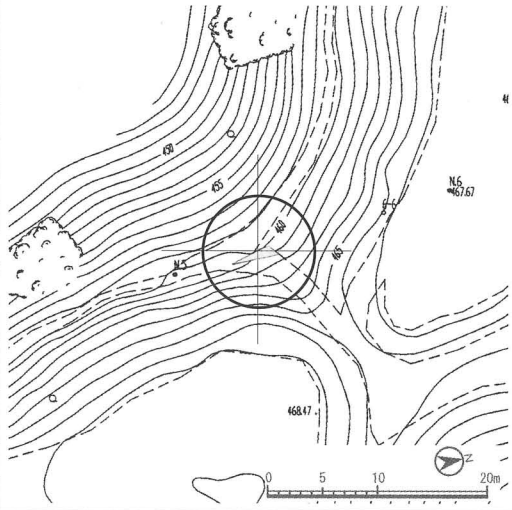


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、部分崩壊がみられる。	

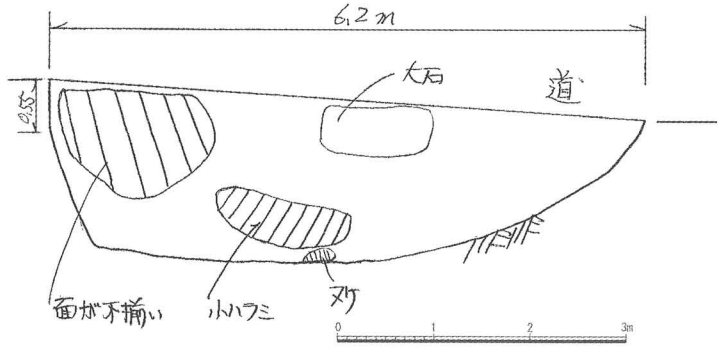


全景写真1

石垣番号	om_001	地区名	大松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右				
	左				
石垣延長	天端 6.20		下端 6.20		
石垣高さ	左 0.55		右 0.00		
	最高 1.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	道の土留か？				

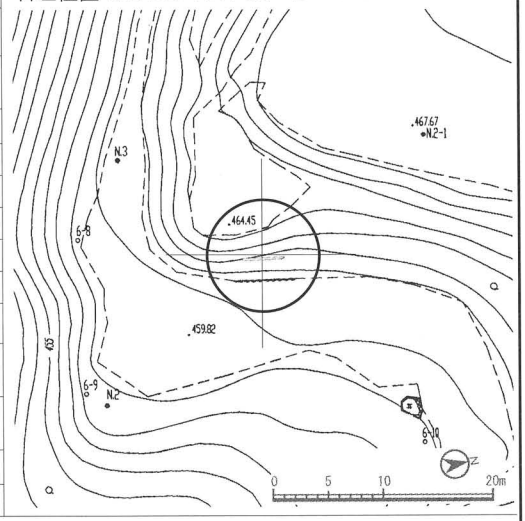


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、小ハラミがみられる。	

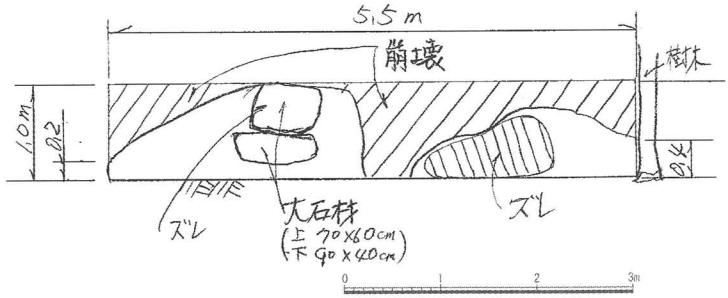


全景写真１

石垣番号	om_002	地区名	大松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け(崩壊している)			
	左	すり付け(地盤)			
石垣延長	天端 5.50		下端 5.50		
石垣高さ	左 0.20		右 0.40		
	最高 1.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	角張った大石材あり。				



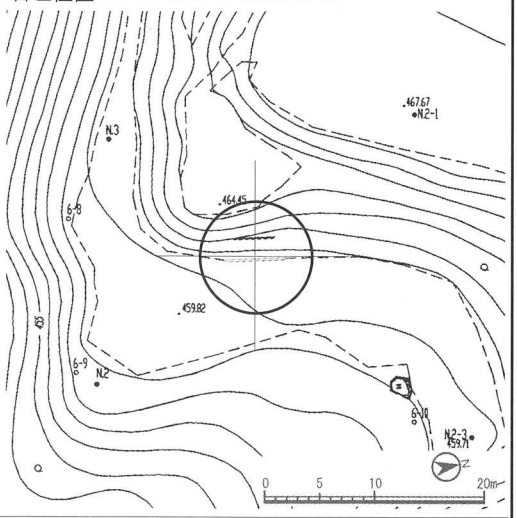
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。 ・大石の影響などにより、ズレがみられる。	



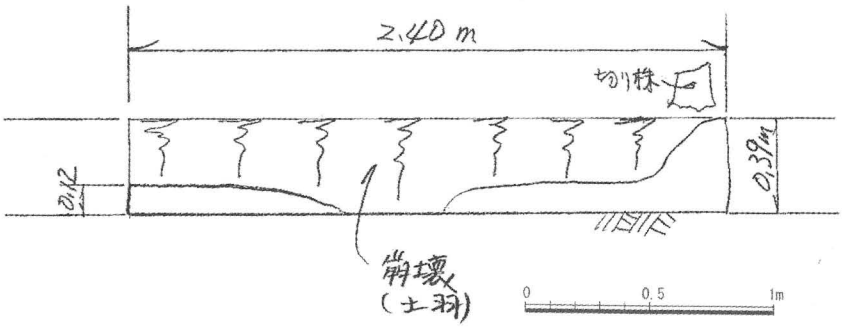
全景写真1

石垣番号	om_003	地区名	大松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.40		下端 2.40		
石垣高さ	左 0.12		右 0.39		
	最高 0.39	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	比較的小石材。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

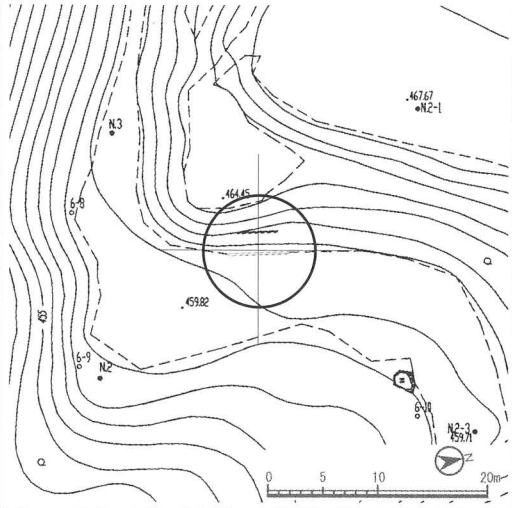


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



全景写真1

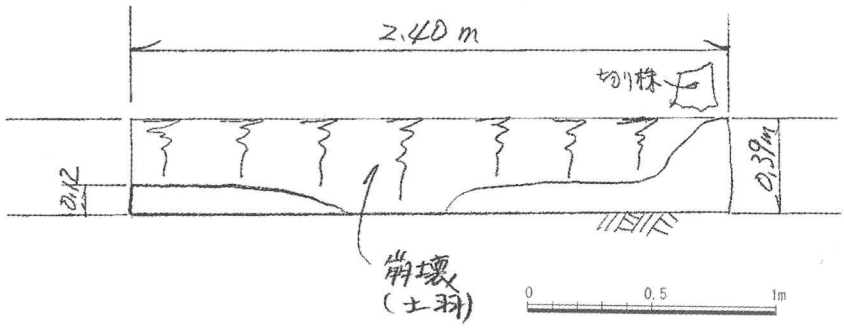
石垣番号	om_003	地区名	大松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.40		下端 2.40		
石垣高さ	左 0.12		右 0.39		
	最高 0.39	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	比較的小石材。				



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

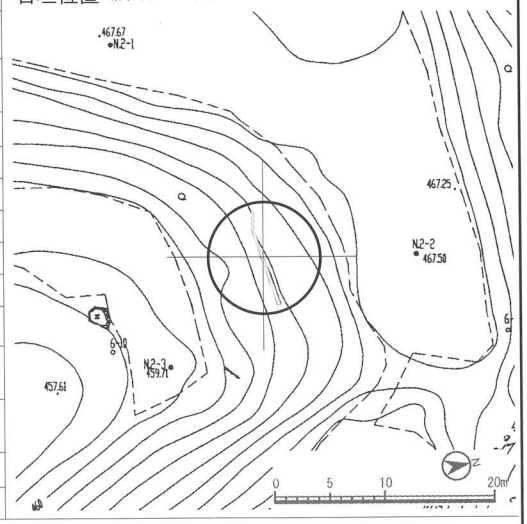
略図



全景写真1

石垣番号	om_004	地区名	大松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 11.58		下端 11.58		
石垣高さ	左 0.36		右 0.06		
	最高 0.44	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材。				

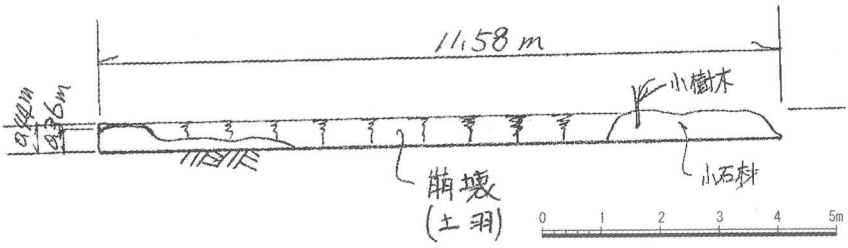
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。

略図

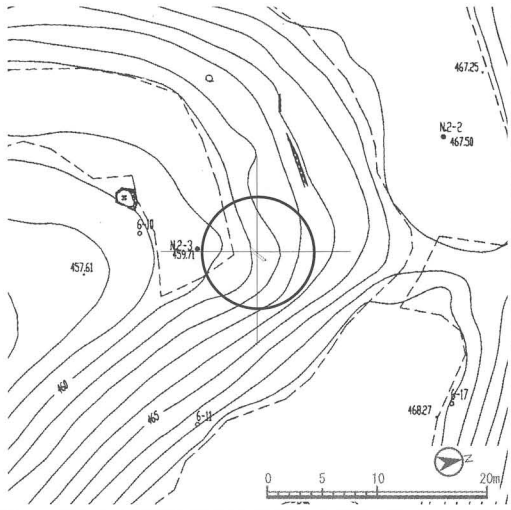


全景写真1

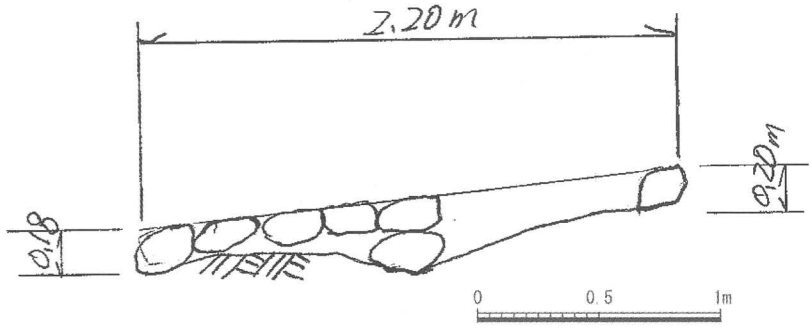
全景写真2

石垣番号	om_005	地区名	大松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.20		下端 2.20		
石垣高さ	左 0.18		右 0.20		
	最高 0.32	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	全壊				
特記事項	列石状に斜面に沿って並ぶ。土留か？				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

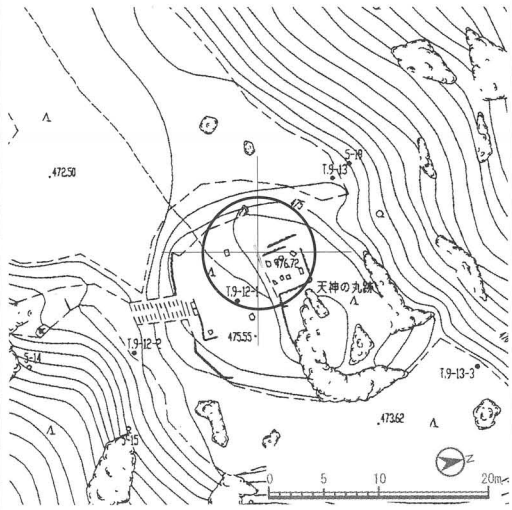


破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	

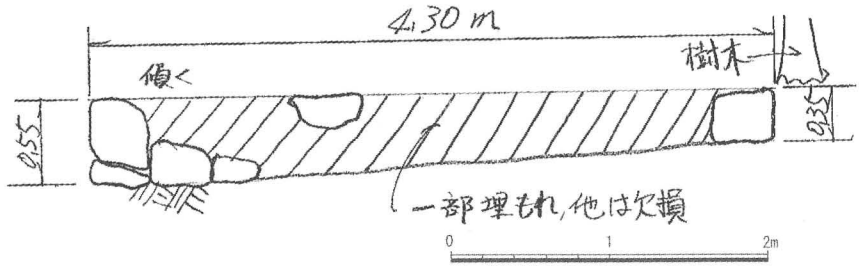


全景写真1

石垣番号	tj_001	地区名	天神の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭？櫓台？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.30		下端 4.30		
石垣高さ	左 0.55		右 0.35		
	最高 0.55	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	野面石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	敷石を残して大半が崩壊。本来１～２段の低石垣？				



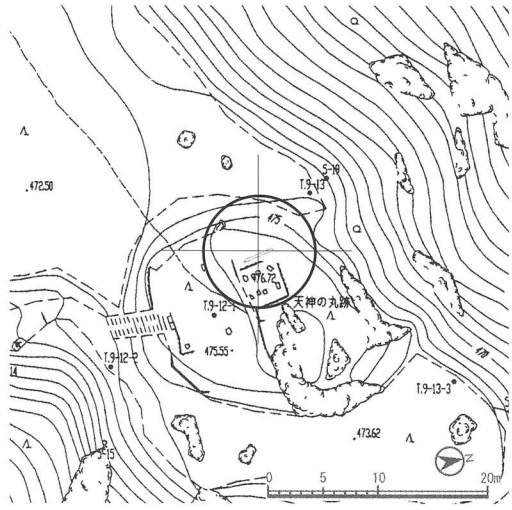
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



全景写真１

石垣番号	tj_002	地区名	天神の丸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	すり付け(不明)			
	左	すり付け(不明)			
石垣延長	天端 3.50		下端 3.50		
石垣高さ	左 0.23		右 0.20		
	最高 0.23	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	野面石				
石積工法	その他				
石垣現状	全壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	全壊				
特記事項	両端１～３石のみ。当初は列石状の石列？				

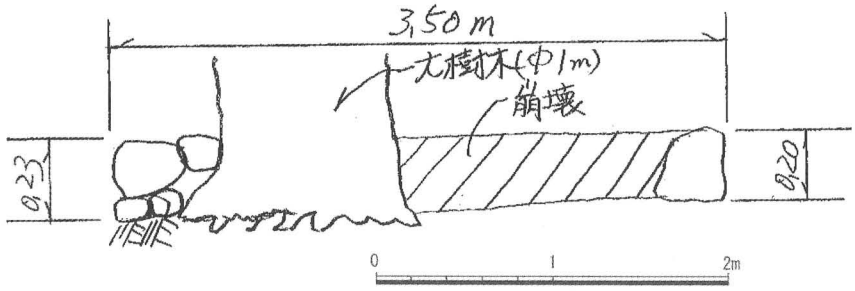
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・全壊している。

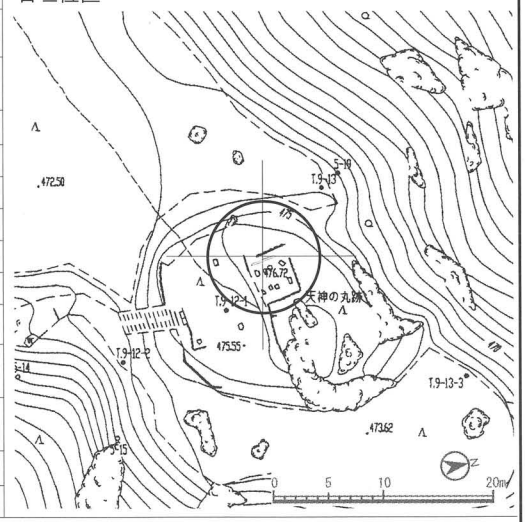
略図



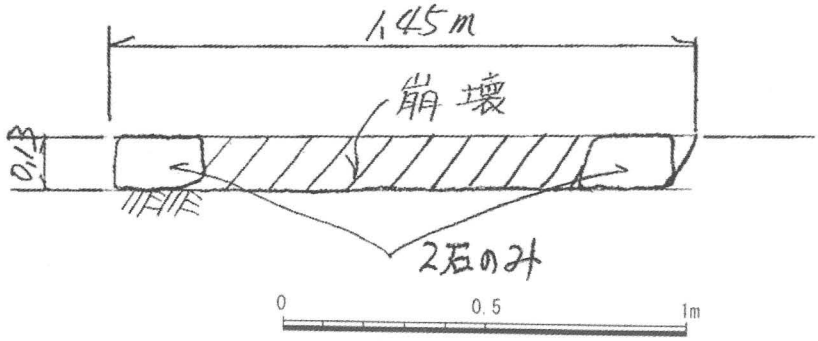
全景写真１

全景写真２

石垣番号	tj_003	地区名	天神の丸跡	曲輪名	
石垣部位	?			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右 ?				
	左 ?				
石垣延長	天端 1.45		下端 1.45		
石垣高さ	左 0.13		右 0.05		
	最高 0.13	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	切石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	２石のみ。建物の礎石？左は木等で当初の規模不明。				



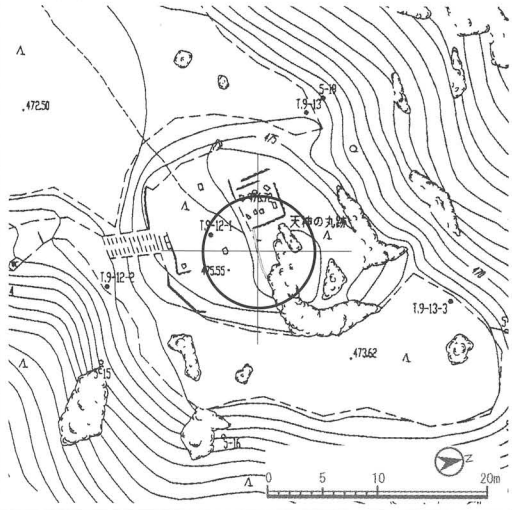
破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	



全景写真１

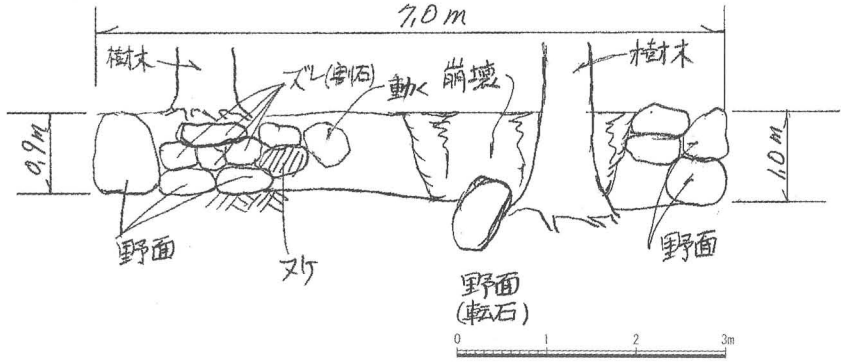
石垣番号	tj_004	地区名	天神の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭？櫓台？				
角の形状	右	すり付け(岩)			
	左	出角			
石垣延長	天端 7.00		下端 7.00		
石垣高さ	左 0.90		右 1.00		
	最高 1.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.05		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	野面積・乱積・打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	中央～右端まで崩壊。左の天端の木の根で石材ズレ出し。古い野面石の石垣に後に割石で上半を積み直したものか？				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

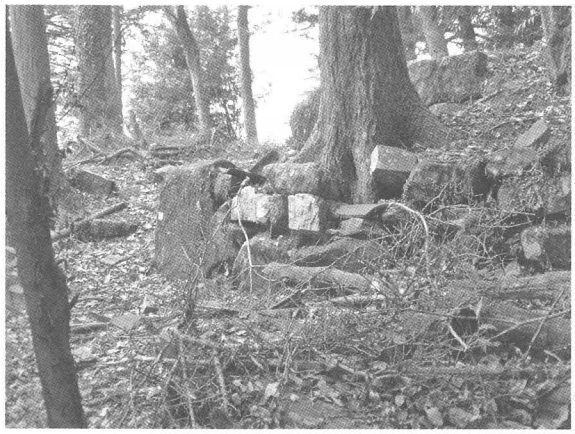


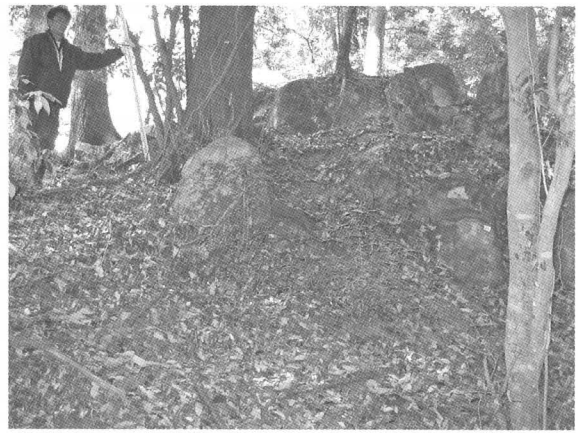
破損の要因と破損状況
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。 ・石垣天端の樹木の影響などにより、ズレ、ヌケがみられる。

略図

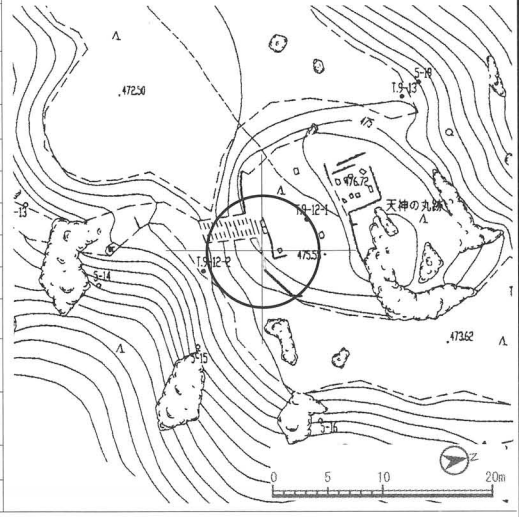


左変曲点

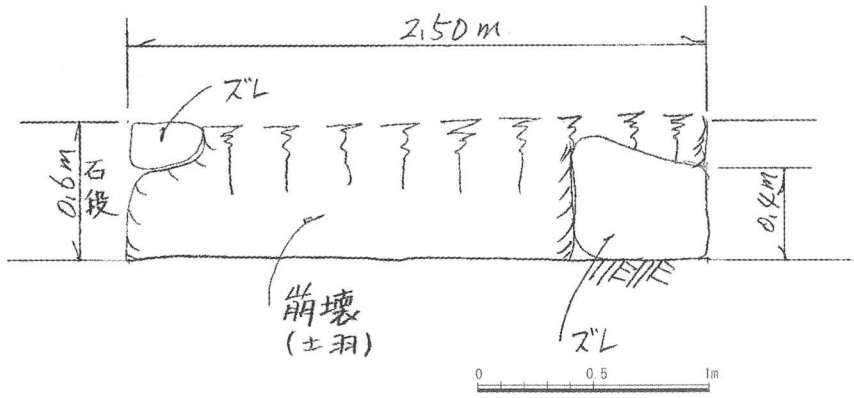




石垣番号	tj_005	地区名	天神の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け(石段)			
石垣延長	天端 2.50		下端 2.50		
石垣高さ	左 0.40		右 0.60		
	最高 0.60	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材角張る。				

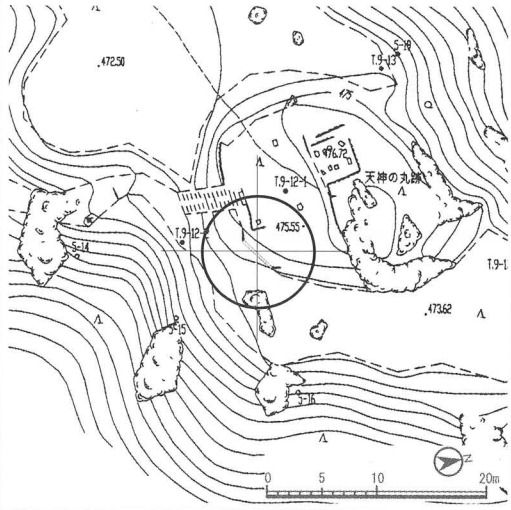


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	

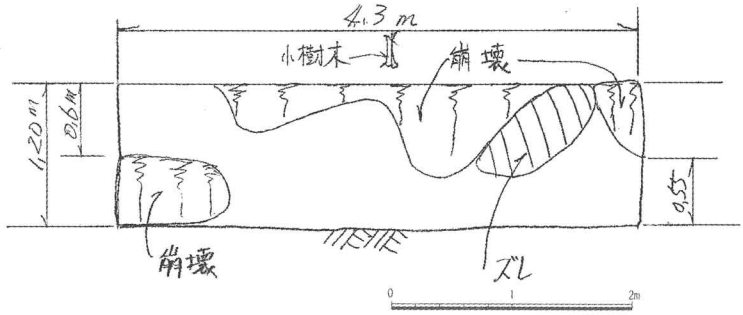


全景写真1

石垣番号	tj_006	地区名	天神の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.30		下端 4.30		
石垣高さ	左 0.60		右 0.55		
	最高 1.20	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	比較的丸みのある石材がみられる。				



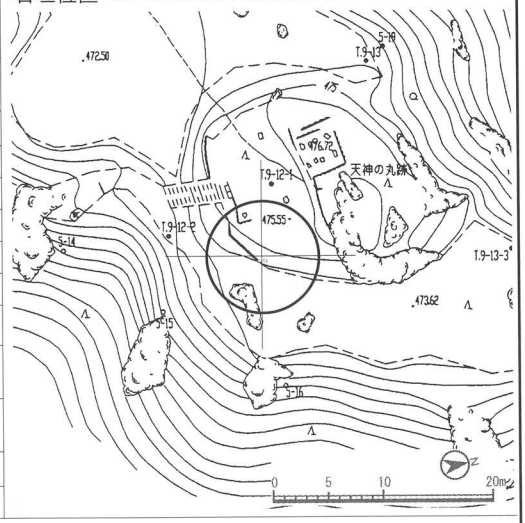
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、部分崩壊がみられる。	



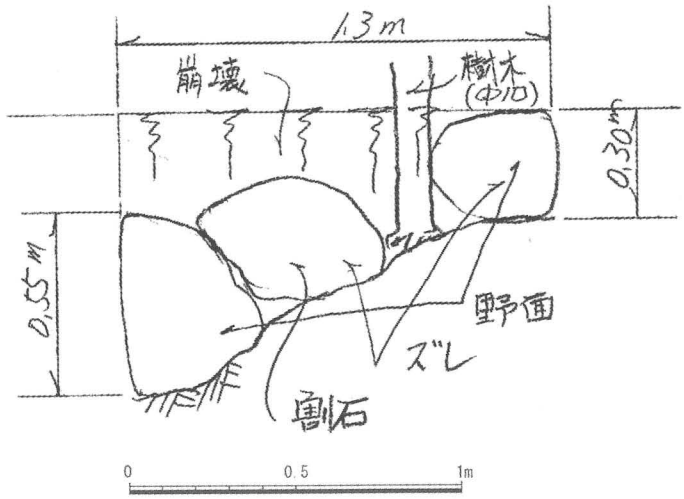
全景写真1

石垣番号	tj_007	地区名	天神の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.30		下端 1.30		
石垣高さ	左 0.55		右 0.30		
	最高 0.55	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	3石のみ残る。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



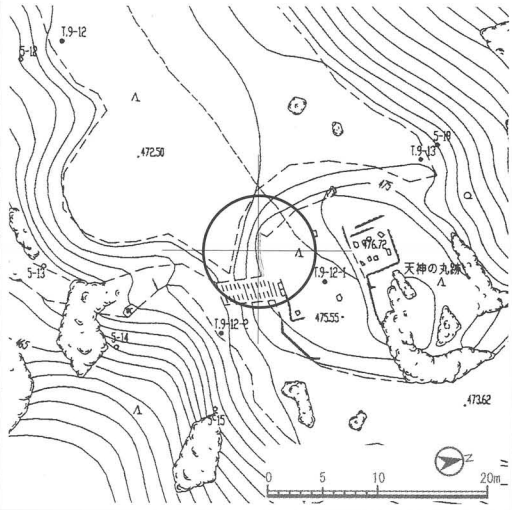
破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



全景写真1

石垣番号	tj_008	地区名	天神の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け(石段)			
	左	すり付け(地山斜面)			
石垣延長	天端 2.90		下端 2.90		
石垣高さ	左 0.32		右 0.22		
	最高 0.40	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	大石材も１つあるが、小石材、並が混ざる。				

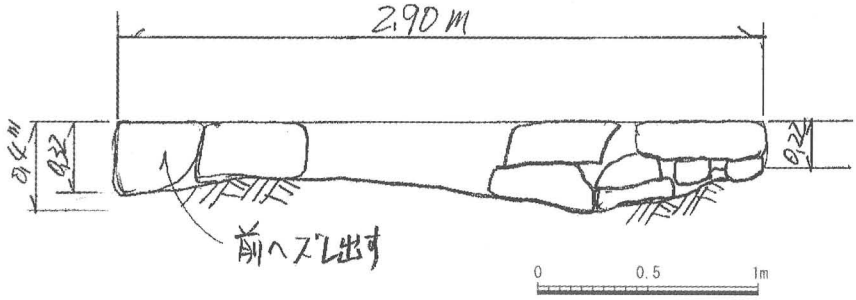
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。

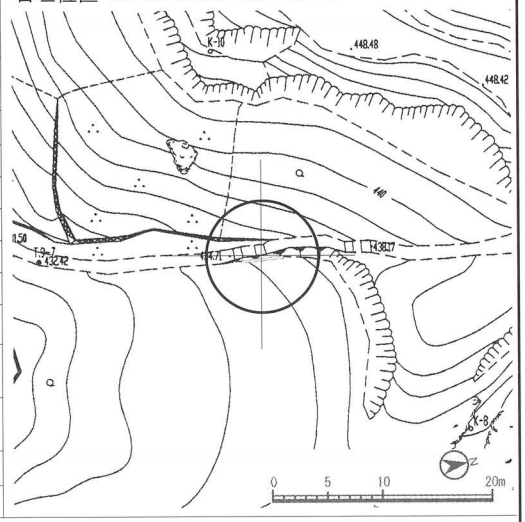
略図



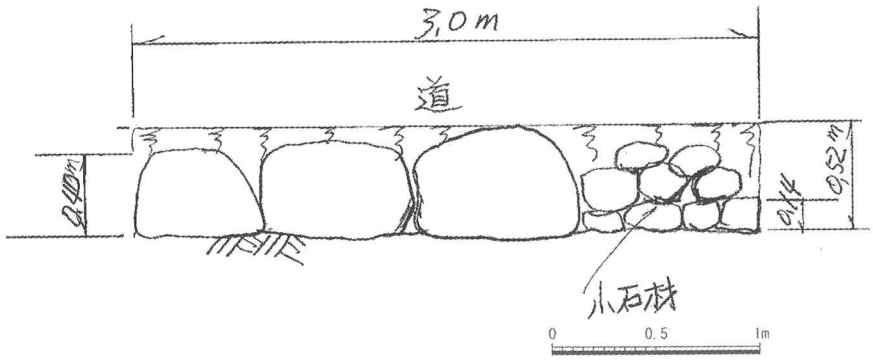
全景写真１

石垣番号	ai_001	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	すり付け(地山)			
	左	すり付け(地山)			
石垣延長	天端 3.00		下端 3.00		
石垣高さ	左 0.40		右 0.14		
	最高 0.52	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.05				
地盤状況	平坦面				
石材種別	野面石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	道路段々部の側壁石垣。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



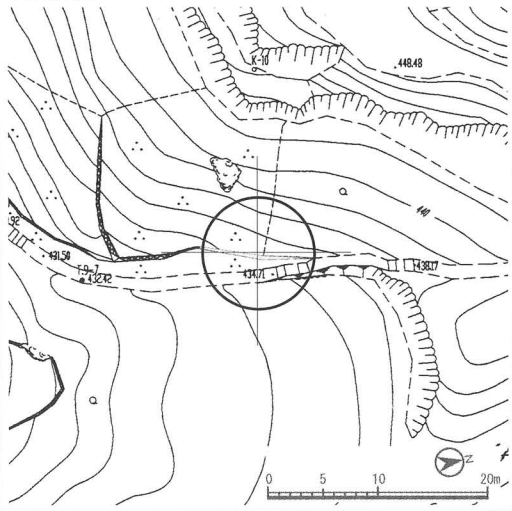
破損の要因と破損状況	略図



全景写真1

石垣番号	ai_002	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 10.2		下端 10.2		
石垣高さ	左 1.00		右 0.55		
	最高 1.32	最高点位置			
石垣勾配	左 0.05		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	全体に小石材をルーズに（合端に関係なく石の方向もバラバラで）積んでいる。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

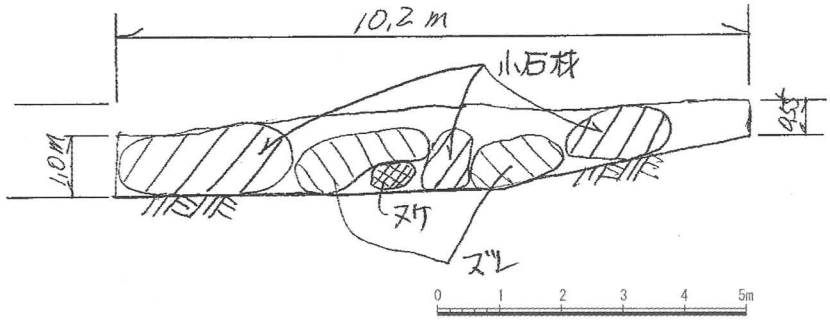


破損の要因と破損状況

・小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。

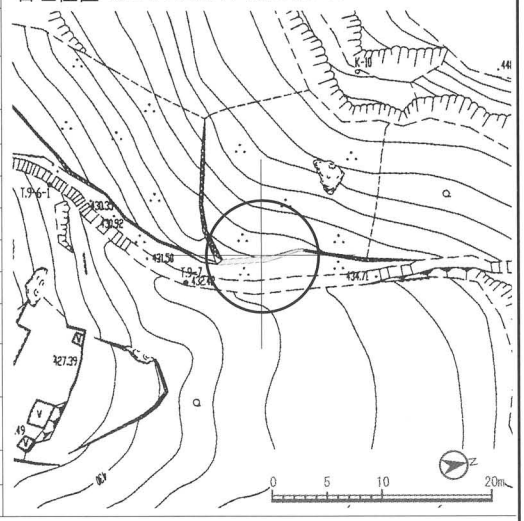
・小石材の影響などにより隣接する石垣に、ヌケがみられる。

略図

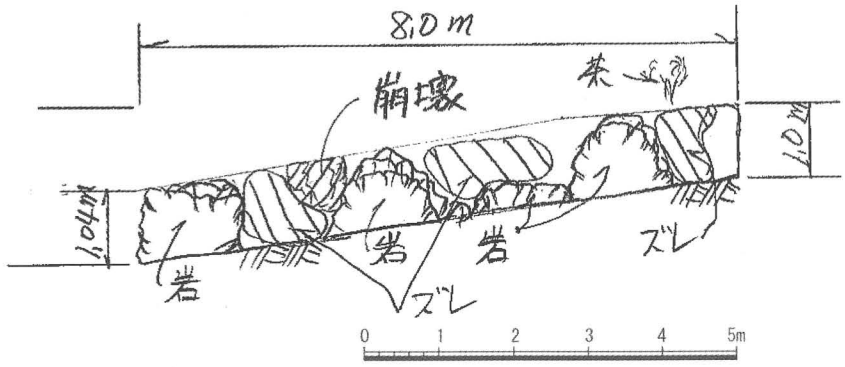


全景写真1

石垣番号	ai_003	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 8.00		下端 8.00		
石垣高さ	左 1.04		右 1.00		
	最高 1.15	最高点位置			
石垣勾配	左 0.05		右 0.05		
	最高地点 0.05				
地盤状況	その他(道路)				
石材種別	切石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	露岩の組込。小石材が多くズレがみられる。				

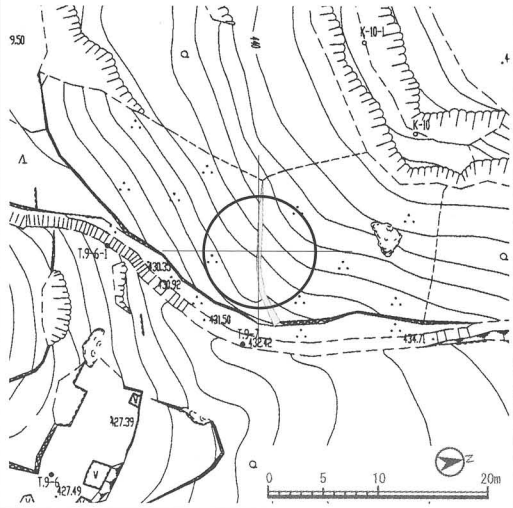


破損の要因と破損状況	略図
・露岩と築石面の不整合などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	

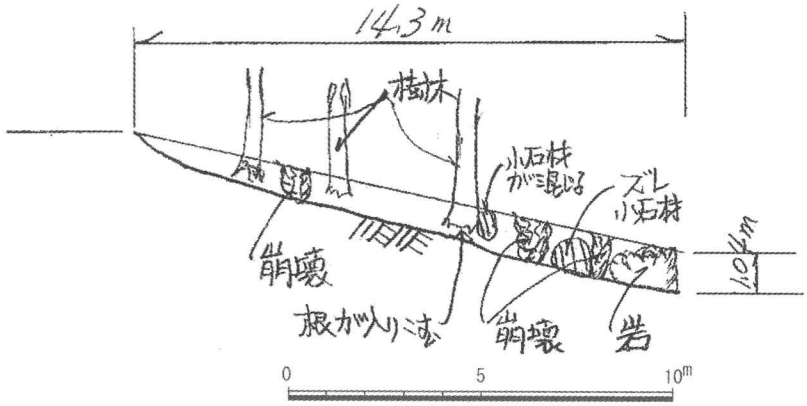


全景写真1

石垣番号	ai_004	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 14.3		下端 14.3		
石垣高さ	左 0.18		右 1.04		
	最高 1.10		最高点位置		
石垣勾配	左 0.00		右 0.05		
	最高地点 0.05				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材での積み上げ。露岩の組込。破損箇所が多い。				



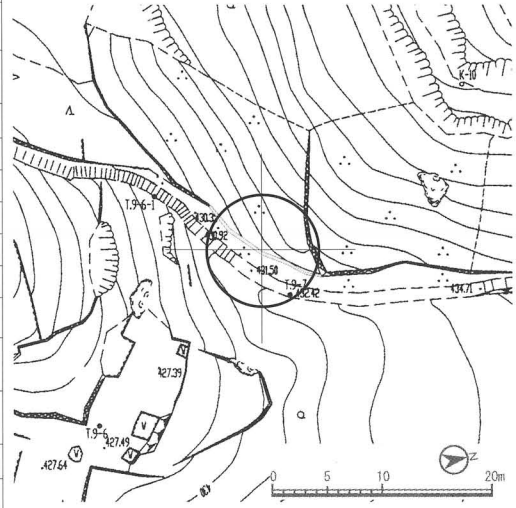
破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。 ・露岩と築石面の不整合などにより、部分崩壊がみられる。	



左変曲点

右変曲点

石垣番号	ai_005	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右				
	左	すり付け(ai_006)			
石垣延長	天端 11.00		下端 11.00		
石垣高さ	左 0.68		右 0.08		
	最高 1.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材での積み上げがみられ、ズレがみられる。				

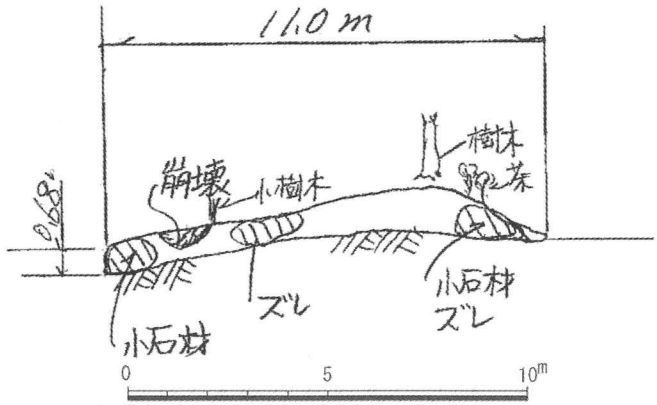


破損の要因と破損状況

・石垣面の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。

・小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。

略図

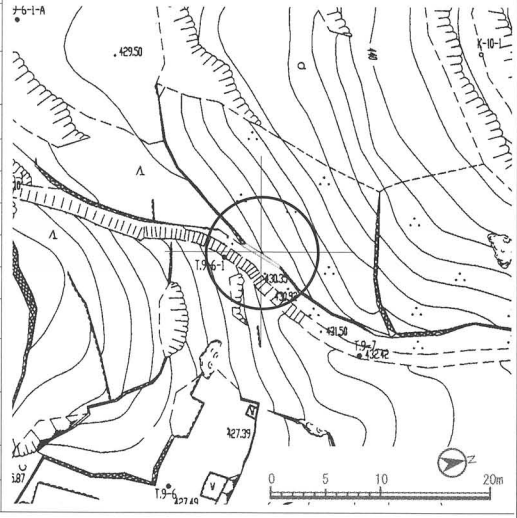


右変曲点

左変曲点

石垣番号	ai_006	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.20		下端 6.20		
石垣高さ	左 1.35		右 0.68		
	最高 1.35	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	その他(道路)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	角張った石材や小石材の使用。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

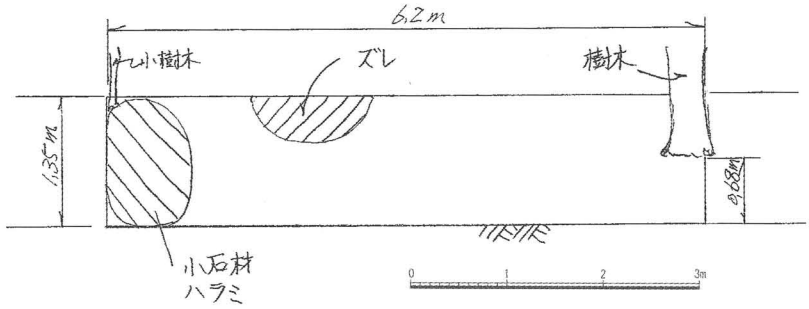


破損の要因と破損状況

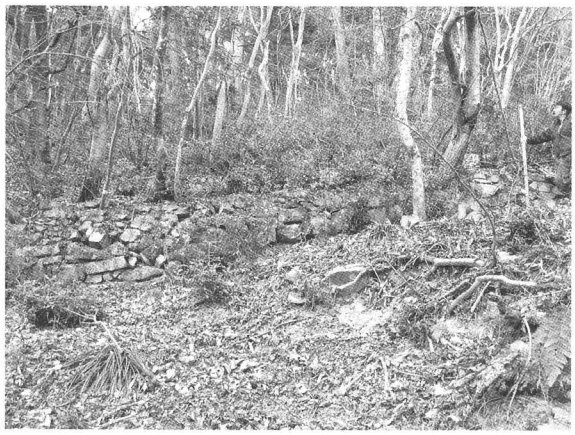
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。

・小石材で築いたことなどにより、ワレがみられる。

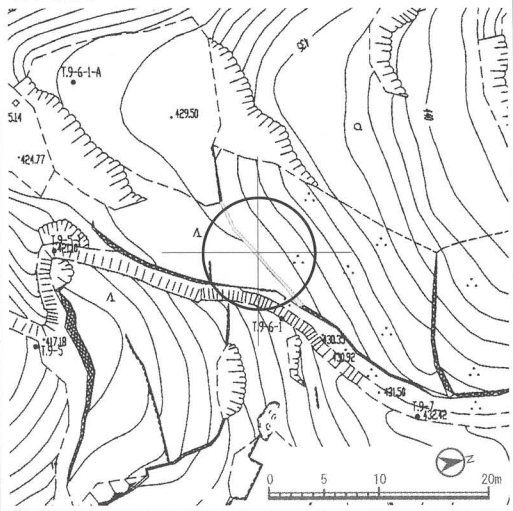
略図



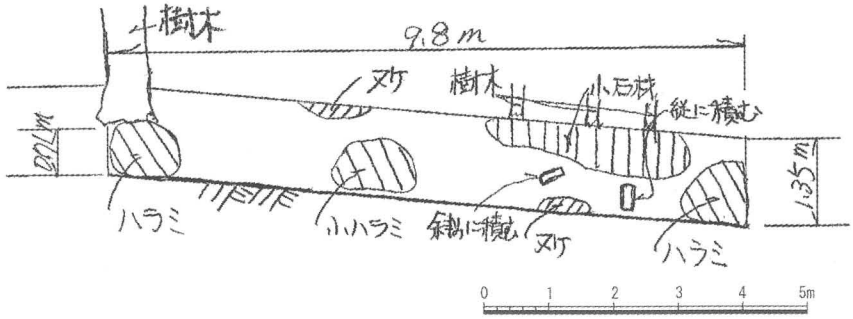
全景写真1



石垣番号	ai_007	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 9.80		下端 9.80		
石垣高さ	左 0.71		右 1.35		
	最高 1.40	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	不定形。角張った小石材。比較的乱雑な積み方。				



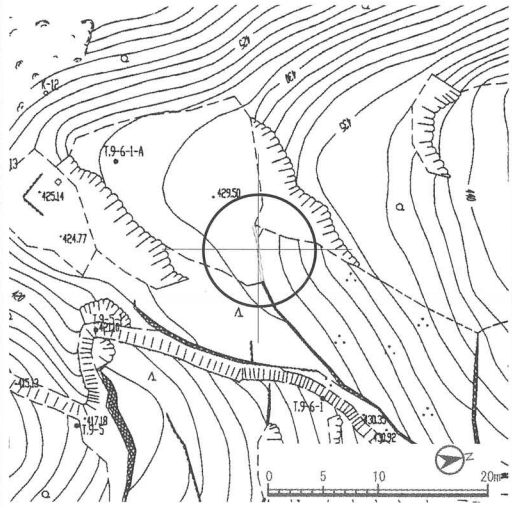
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、小ハラミ、ハラミがみられる。 ・石垣面の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。	



右変曲点

左変曲点

石垣番号	ai_008	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 7.80		下端 7.80		
石垣高さ	左 0.19		右 0.71		
	最高 0.96	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.05				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

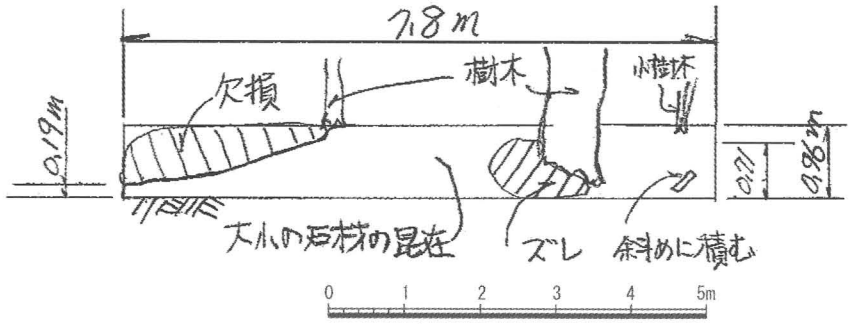


特記事項	樹木の影響によりズレが生じる。全体的に石材の大小が混在する。

破損の要因と破損状況

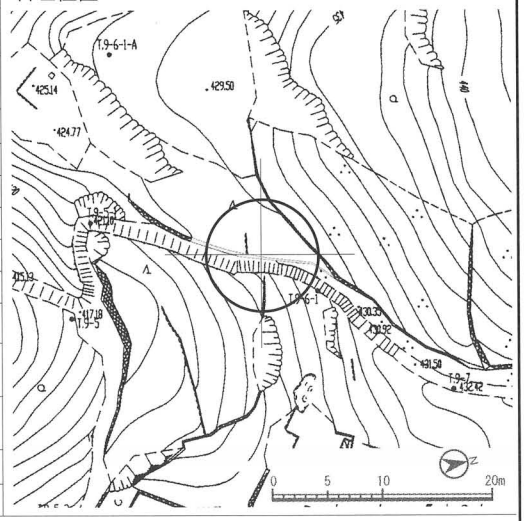
- 施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。

略図

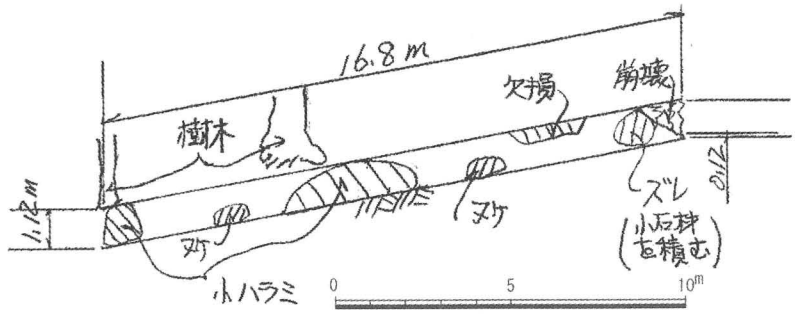


全景写真1

石垣番号	ai_009	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 S16.8		下端 S16.8		
石垣高さ	左 1.12		右 0.20		
	最高 1.12	最高点位置			
石垣勾配	左 0.12		右 0.00		
	最高地点 0.12				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	角張った小石材を多用。やや扁平小石材もあり。				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、小ハラミ、部分崩壊、カケがみられる。 ・小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。	

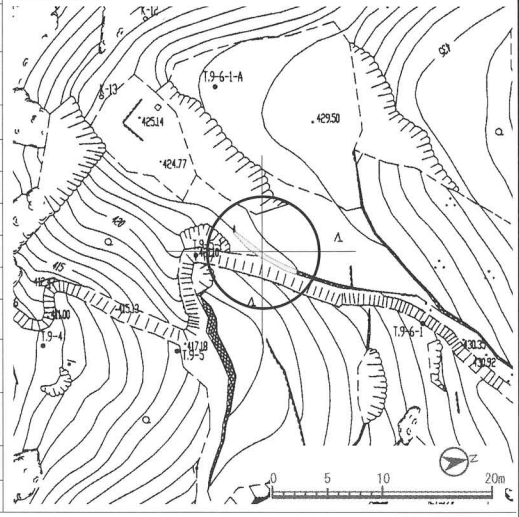


全景写真1

左変曲点

石垣番号	ai_010	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.05		下端 3.05		
石垣高さ	左 0.50		右 1.12		
	最高 1.12	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材多用。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

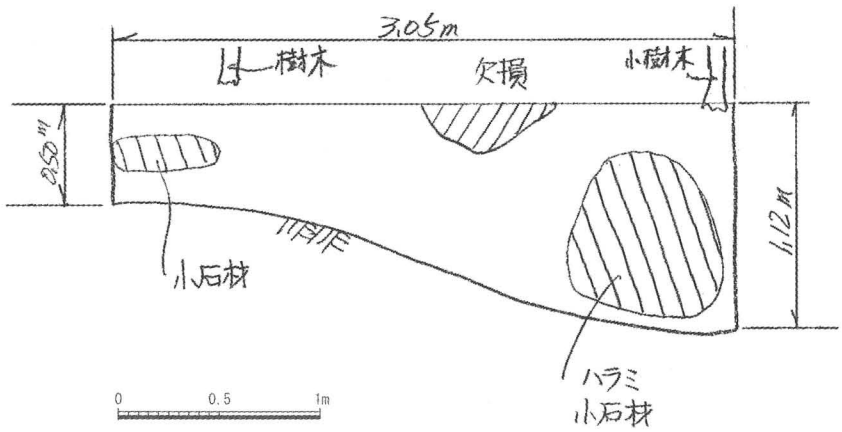


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。

・小石材で築いたことなどにより、小ハラミがみられる。

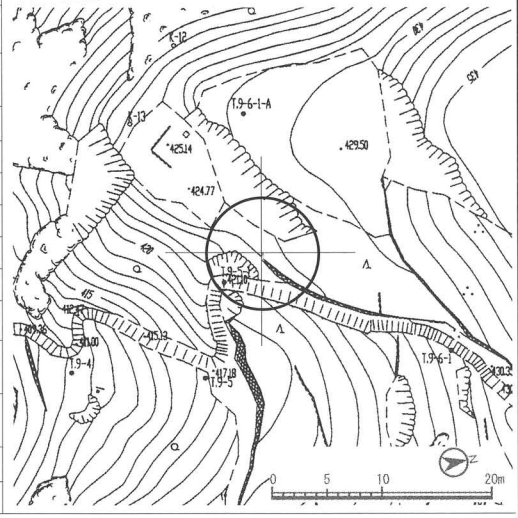
略図



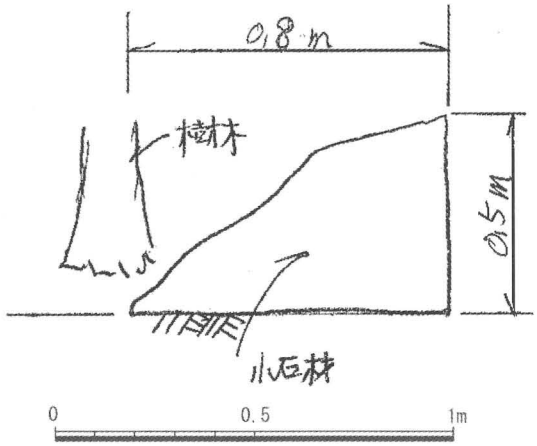
全景写真1

石垣番号	ai_011	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け(地盤)			
石垣延長	天端 0.80		下端 0.80		
石垣高さ	左 0.00		右 0.50		
	最高 0.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材の使用。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

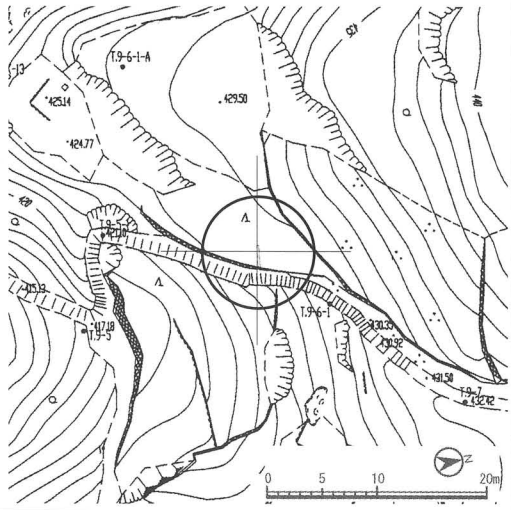


破損の要因と破損状況	略図
・小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。	



全景写真１

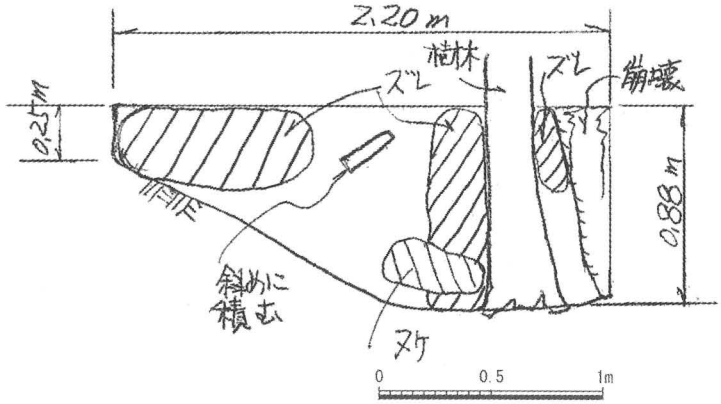
石垣番号	ai_012	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.20		下端 2.20		
石垣高さ	左 0.25		右 0.00		
	最高 0.88	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	樹木により大きく変形する。右スミ部が崩落。				



破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、ヌケがみられる。

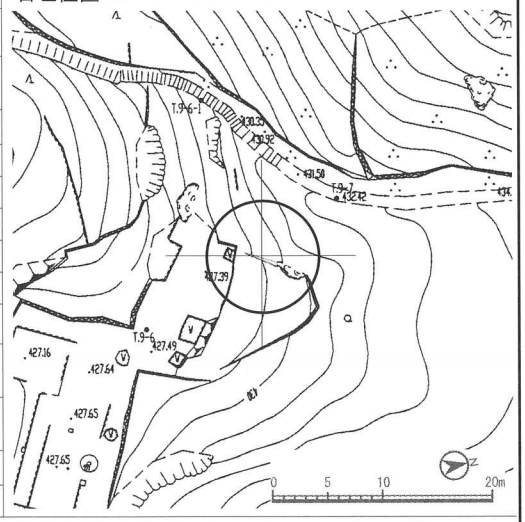
略図



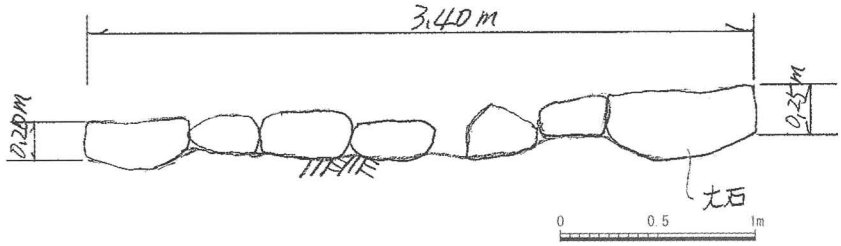
全景写真1

石垣番号	ai_013	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け(岩)			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 3.40		下端 3.40		
石垣高さ	左 0.20		右 0.25		
	最高 0.25	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面(ゆるい傾斜)				
石材種別	野面石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	野面石を列石状に並べる。本来１列か？				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図



全景写真１